

葉山町スポーツ推進計画

令和3年度～令和6年度

葉山町教育委員会

はじめに

このたび、葉山町教育委員会では、町民のスポーツ志向がますます高まりつつある状況に応えるべく、本町としては初めてとなる「葉山町スポーツ推進計画」を策定しました。

従来は、国が平成23年6月に制定した「スポーツ基本法」やその精神に則って作られた国・県のスポーツ推進に係る計画を参考に、町の第四次総合計画に謳われた「多くの町民がスポーツに親しみ、心身ともに健やかに暮らし、スポーツを通じた交流が盛んな明るく活気のあるまちの実現」を目指しながら、様々な施策に取り組んでまいりました（この間の詳細につきましては、本文「第1章 計画の策定にあたって」に記載されています）。

こうした経緯を踏まえつつ、県立保健福祉大学の鈴木志保子教授を委員長として発足した葉山町スポーツ推進審議会の委員の皆様のご知見を得ながら、いわば満を持して今回の策定に至ったものであります。

スポーツが人生の様々な時期において、その時々に見合った必要を充足し、大きな喜びをもたらしてくれるものであることは、誰しも感じておられることと思います。自分のささやかな経験で言っても、10代の学校部活動、教員時代の部活顧問（女子ソフトボール部監督を務めました）、そして50代以降の健康体操や屋外散歩など、それぞれに自分なりの生きる手応えと感動がありました。スポーツ基本法にあるとおり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、まさに人々の権利であると思います。

本計画においても、対象とする取組の範囲は、狭義のスポーツ（特に競技スポーツ）に限らず、どちらかといえば健康分野に近いような日常的運動まで含む、広義の生涯スポーツ活動全般となっています。施設・設備の問題など、まだまだ不十分な点があるかと存じますが、町民の皆様におかれましては、今後とも忌憚なくご意見を賜り、本計画の実施・推進につきまして、一層のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、昨年来、全世界的に「新型コロナウイルス」が猛威を振るい、感染状況は依然として収まる気配が見えません。日本中が、世界中が楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、多くのイベントが延期または中止に追い込まれ、運動施設等も使用停止や制限が課されました。手をたたき、肩を抱き合い、大声で喜びを分かち合う感激の光景が失われてしまいました。本当に残念でなりません。しかしながら、芸術などと同様、この出来事を通じて「スポーツとは私たちにとってそもそも何なのか」が問い直され、改めてその本質的意義が確認されてきました。「明けぬ夜はない」と信じ、引き続き全力で取り組んでまいりたいと存じます。

終わりにあたり、本計画の策定にお力添えいただいたすべての皆様、とりわけ、葉山町スポーツ推進審議会委員の皆様、アンケートにご協力いただきました町民の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和3年（2021年）3月
葉山町教育委員会 教育長 返町和久

目次

第1章	計画の策定にあたって	
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画期間	3
4	計画におけるスポーツの定義	3
第2章	運動・スポーツに関する現状と課題	
1	葉山町の特徴	5
2	葉山町の運動・スポーツにおける現状と課題	6
第3章	スポーツ推進の施策	
1	計画の基本的な考え方	31
(1)	基本理念	31
(2)	本計画が目指す将来像	32
(3)	数値目標	32
(4)	基本目標	33
(5)	計画の体系	34
	基本目標1 生涯スポーツ活動の機会の充実	35
	基本施策(1) 運動・スポーツを始める機会提供	35
	基本施策(2) 日常的に運動・スポーツをする機会提供	37
	基本施策(3) 競技スポーツへの参加機会提供	39
	基本目標2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進	41
	基本施策(1) スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備	41
	基本施策(2) 地域の特性を活かした運動・スポーツの普及	43
	基本施策(3) 的確な運動・スポーツ情報の提供	45
	基本目標3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築	47
	基本施策(1) 連携・協働によるスポーツ活動の推進	47
	基本施策(2) 運動・スポーツに関わる人材育成と団体への支援	49

第4章 計画の推進にあたって

- 1 計画の推進と進行管理.....53
- 2 各主体の役割.....54

資料編

- 1 葉山町スポーツ推進計画の策定体制.....57
- 2 葉山町スポーツ推進審議会委員名簿.....58
- 3 葉山町スポーツ推進計画検討会委員名簿.....58
- 4 葉山町スポーツ推進計画策定経過.....59

第1章

—計画の策定にあたって—

1 計画策定の趣旨

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びをもたらすとともに、健康の保持増進、体力の向上、活力ある健全な社会の形成など様々な役割が期待されています。また、スポーツを楽しみながら適切に継続することは、生活習慣病の予防・改善などを通じた健康寿命を伸ばし、医療費の抑制につながるなど、スポーツが果たす役割や重要性が増しています。

平成 23 年 8 月に施行されたスポーツ基本法においては、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的に、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」と明記し、国、地方公共団体、学校、スポーツ団体等その他の関係者は、基本理念の実現を図るため、相互に連携を図りながら協働するよう努めることが規定されました。

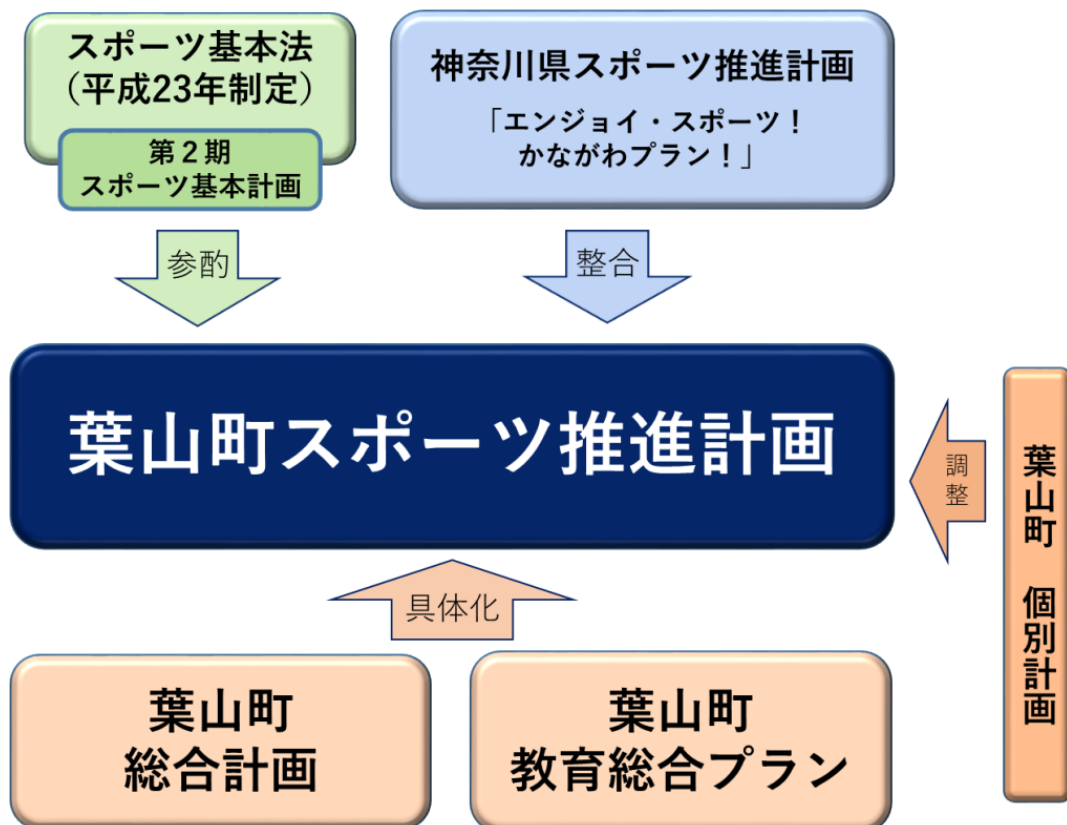
本町では、平成 27 年度からスタートした「第四次葉山町総合計画」に掲げられた「多くの町民がスポーツに親しみ、心身ともに健やかに暮らし、スポーツを通じた交流が盛んな明るく活気のあるまちの実現」を目指し、各種施策に取り組んできましたが、スポーツに求められる多面的な役割のもと、本町のスポーツに関する基本的な施策を総合的かつ計画的に進めることが求められてきました。

そこで、スポーツ基本法第 10 条の規定に基づき、国の「第 2 期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、県の「エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン」を参考に、現在のスポーツを取り巻く状況や課題を整理したうえで、中長期的な視点に立ってスポーツを推進させるため、「葉山町スポーツ推進計画」を策定することとしました。

2 計画の位置付け

本計画は、国の「スポーツ基本計画（第2期スポーツ基本計画）」を参酌するとともに、「神奈川県スポーツ推進計画（エンジョイ・スポーツ！かながわプラン）」との整合を図り、本町の実情に照らし合わせて策定したものです。

なお、本町の上位計画である「葉山町総合計画」及び「葉山町教育総合プラン」をはじめ、他の個別計画と調整を図っています。



3 計画期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和6（2024）年度までの4年間とします。

西暦（年度）	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
和暦（年度）	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
第四次葉山町総合計画	基本構想	10年間								
	基本計画	6年間（第1期）				4年間（第2期）				
	実施計画	3年間（第1期前期）		3年間（第1期後期）			4年間（第2期）			
葉山町教育総合プラン	平成20年から	9年間（第一次）		4年間（第二次）			4年間（第三次）			
葉山町スポーツ推進計画							4年間			

4 計画におけるスポーツの定義

スポーツ基本法では、「スポーツ」を「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と定められています。

本計画では、スポーツにおける多面的な役割を鑑み、自己や他者と記録や勝敗を競う競技スポーツだけでなく、健康志向を目的としたウォーキングやジョギング、散歩などの軽い運動や、地域交流が図られるレクリエーション活動などもライフステージ（子どもから高齢者まで）に応じた身体活動を指すものとして考えます。

また、スポーツには、「する」スポーツのほか、スポーツ観戦などの「みる」観点や、大会やイベントの運営・ボランティア活動などの「ささえる」観点もスポーツの考え方として取り扱います。

本計画においては、上記の考え方に従い、スポーツを広く捉えて普及していくため、「運動・スポーツ」と表記することとします。

第2章

－運動・スポーツに関する現状と課題－

1 葉山町の特徴

葉山町は、人口が約 33,000 人で、東京都心から約 50km、横浜市の中心部から約 20km の距離にあり、首都圏の一角に位置する面積 17.04km² の町です。三浦半島西北部に位置し、北は逗子市に、南及び東は横須賀市に接し、西は相模湾に面しています。西側は市街地、東側は山林が多い丘陵地となっており、南北 4 km におよぶ海岸線は相模湾越しに富士山を望む砂浜と岩礁の美しい景観を有し、平成 8 年には「日本の渚百選」に選出されています。森戸、一色、長者ヶ崎・大浜の 3 つの海水浴場や葉山港などの港湾施設も整備されていて、海水浴や磯遊び、ヨットやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツができるところとして、広く親しまれています。

また、町内には 2 つのハイキングコースが整備されており、恵まれた自然を大いに満喫できる観光の町としても期待されています。

昭和 44 年 3 月には、群馬県草津町と姉妹都市関係を結び、以降、夏には葉山町で水泳教室、冬には草津町でスキー学校の開催や、野球、バレーボールの交流試合など、年々交流を深めています。

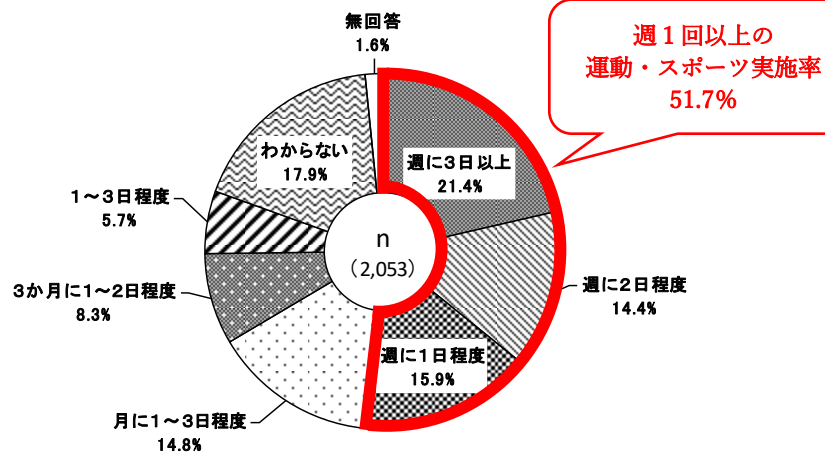


2 葉山町の運動・スポーツにおける現状と課題

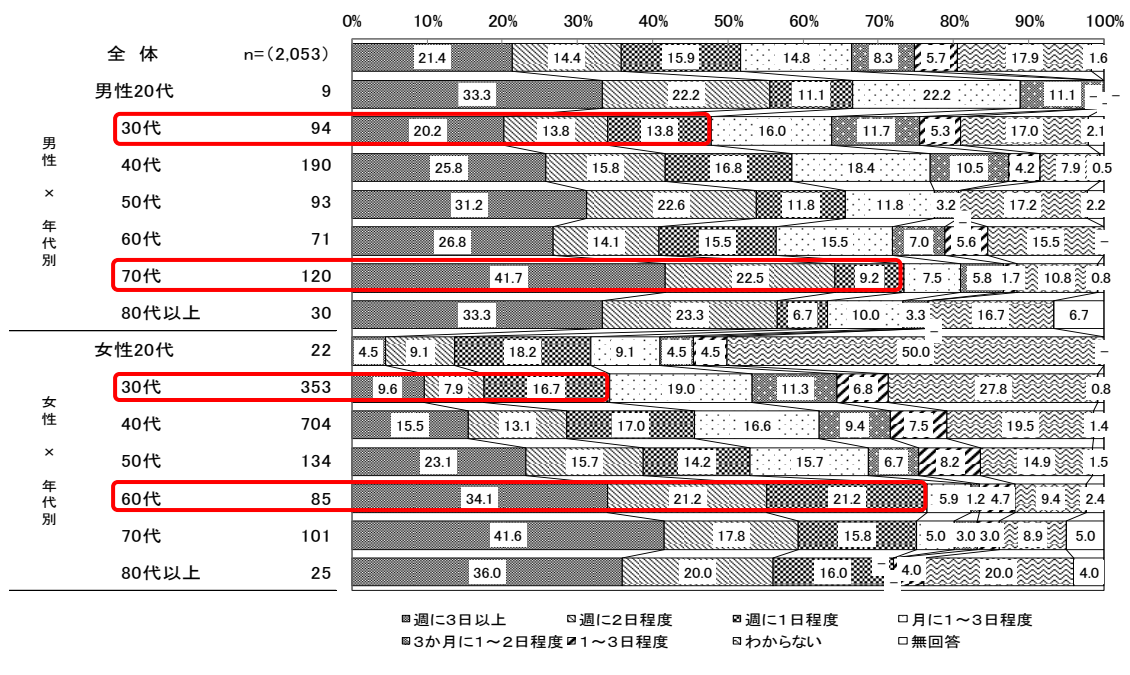
○運動・スポーツの実施頻度

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、週に1日以上運動・スポーツを実施している成人の割合は、全体の51.7%となっています。性別及び年代別で見ると、男性では70代（73.4%）が最も高く、30代（47.8%）が最も低くなっています。女性では、60代（76.5%）が最も高く、30代（34.2%）が最も低くなっています。

■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度



■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度（性別×年代別）



※20代は回答者数が30未満であり、比率が上下しやすいため、本文中では触れていません

【現状】

○週1回以上の運動・スポーツの実施割合で見ると、男女とも年代が若くなるほど、低くなる傾向があり、子育て世代や働き盛り世代の実施率が低くなっています。

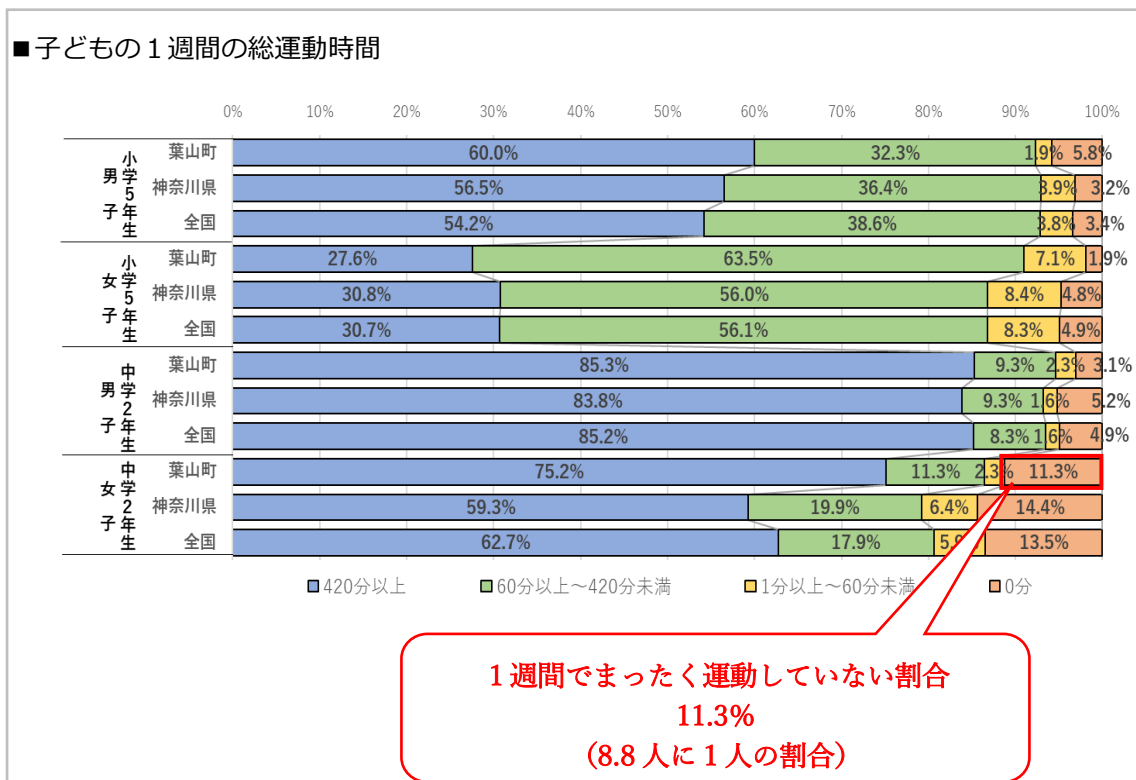
【課題】

○運動・スポーツ実施率が低い子育て世代や働き盛り世代へのさらなる運動・スポーツの啓発、きっかけづくりが重要です。

○子どもの1週間の総運動時間

「平成30年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査」では、小学5年生男子と中学2年生(男女)は、1週間の総運動時間が420分以上である児童・生徒の割合が、全国平均や神奈川県を上回っています。

中学2年生女子は、1週間の総運動時間が0分である割合が、全国平均や神奈川県より下回っているものの、約8.8人に1人がまったく運動していないことがわかります。



【現状】

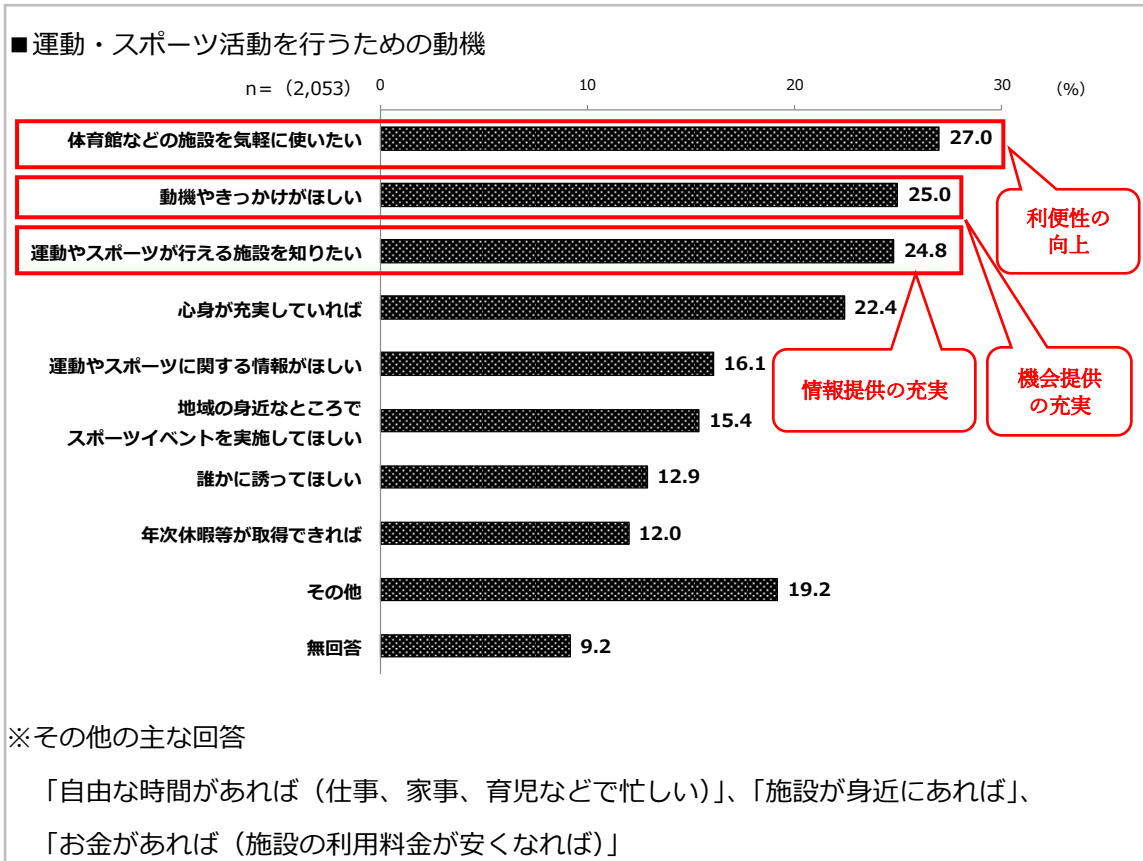
○子どもの1週間の総運動時間は、国・県と比較して上回っている一方、まったく運動していない子どもも見受けられます。

【課題】

○子どもの時から運動する習慣を作ることが重要です。

○運動・スポーツ活動を行うための動機

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「体育館などの施設を気軽に使いたい」と回答した割合が最も高く、全体の27.0%となっています。また、「動機やきっかけがほしい」や「運動やスポーツが行える施設を知りたい」と回答した割合も高くなっています。



【現状】

○施設の利便性向上や運動機会の提供、情報の充実を求める回答が高くなっています。

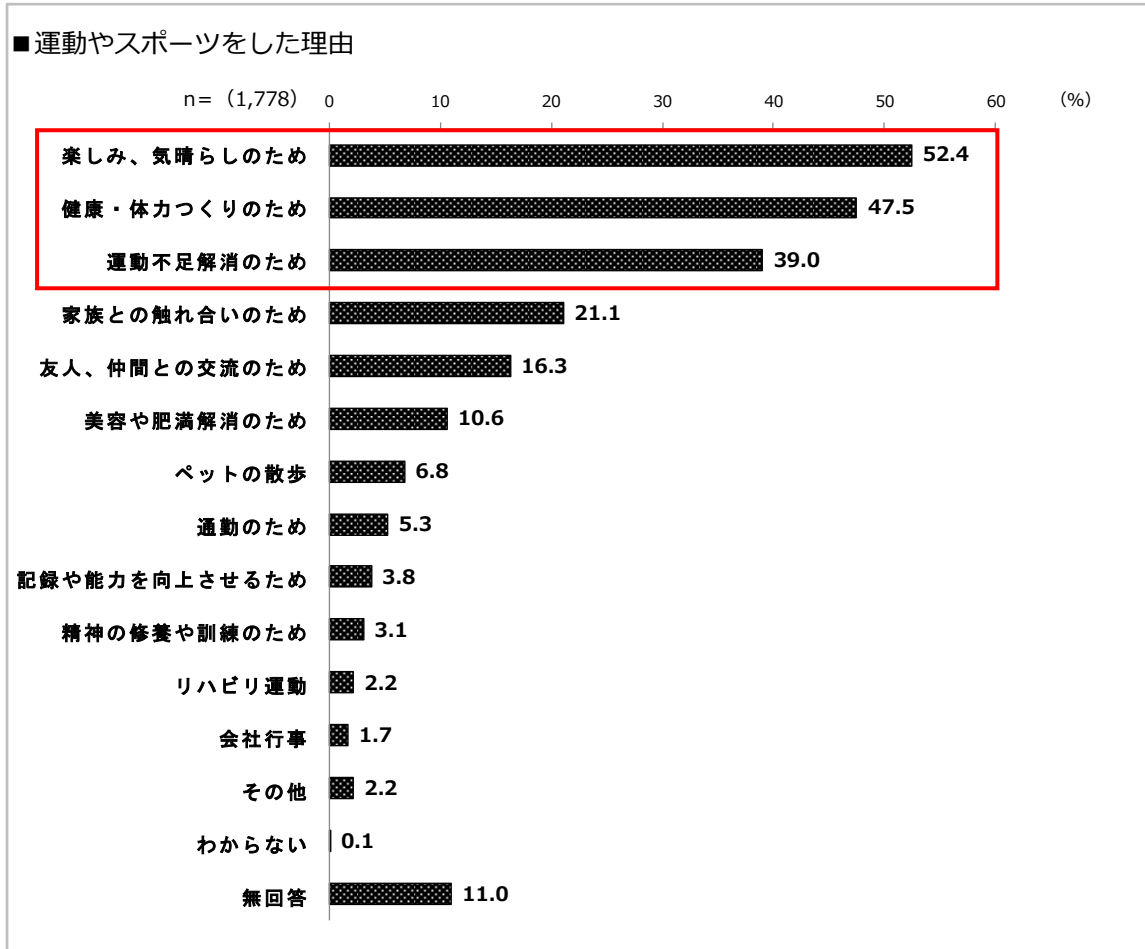
【課題】

○運動施設が気軽に利用できるよう、利用条件等の見直しが必要です。

○運動・スポーツのさらなるきっかけづくりの推進とともに、分かりやすく情報を発信していくことが重要です。

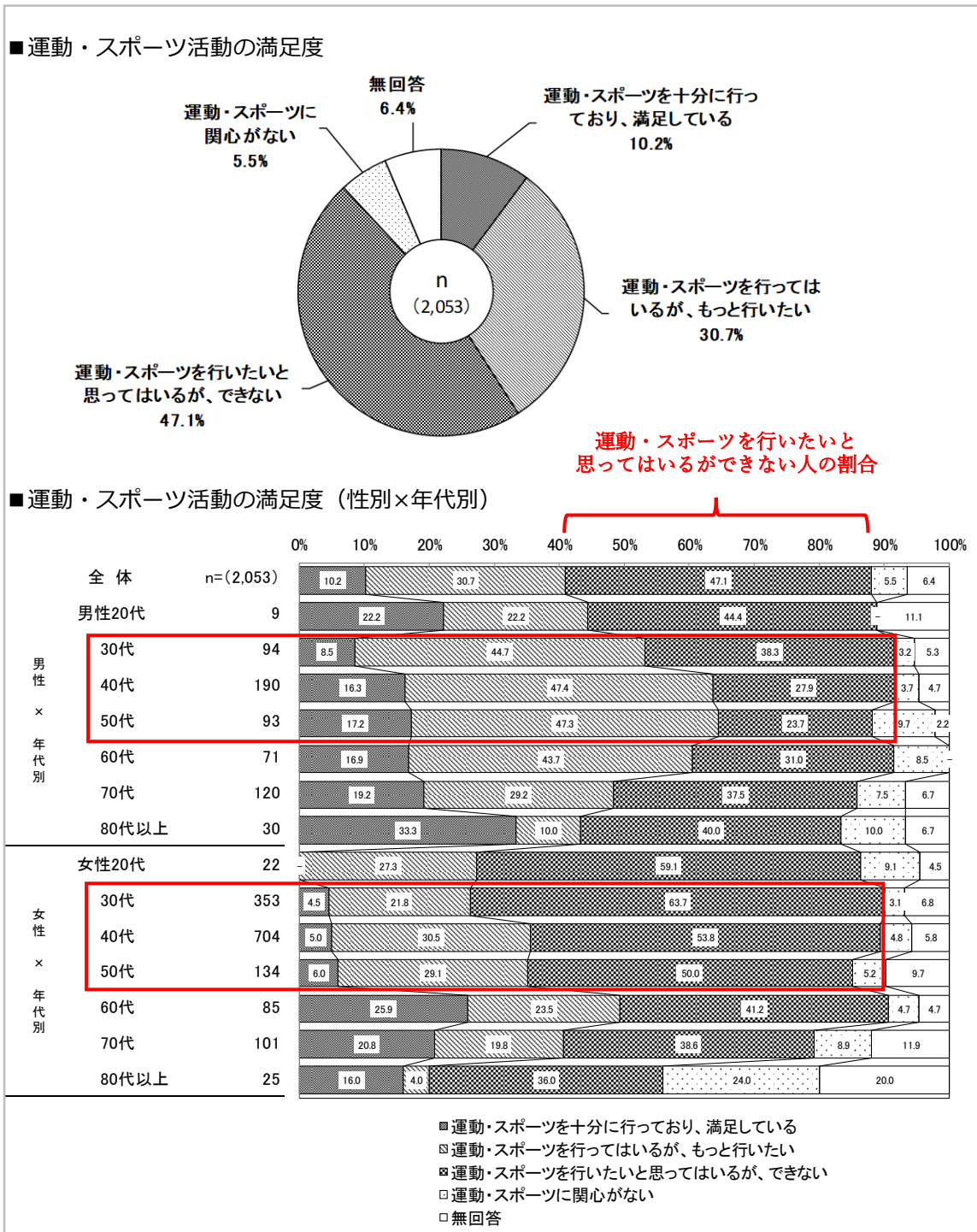
○運動やスポーツをした理由

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「楽しみ、気晴らしのため（52.4%）」が最も高く、次いで、「健康・体力づくりのため（47.5%）」、「運動不足解消のため（39.0%）」となっています。



○運動・スポーツ活動の満足度

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、現状の運動・スポーツ活動に満足している割合は、全体の10.2%となっています。一方、運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できないと回答した割合は全体の47.1%となっています。また、性別及び年代別で見ると、男性より女性の方が高い傾向にあり、特に女性の30代から50代が高くなっています。



【現状】

○成人の約5割が、「運動・スポーツを行いたいと思っているができない」と回答しており、特に、女性の30代～50代が他の年代と比べて高い傾向となっています。

【課題】

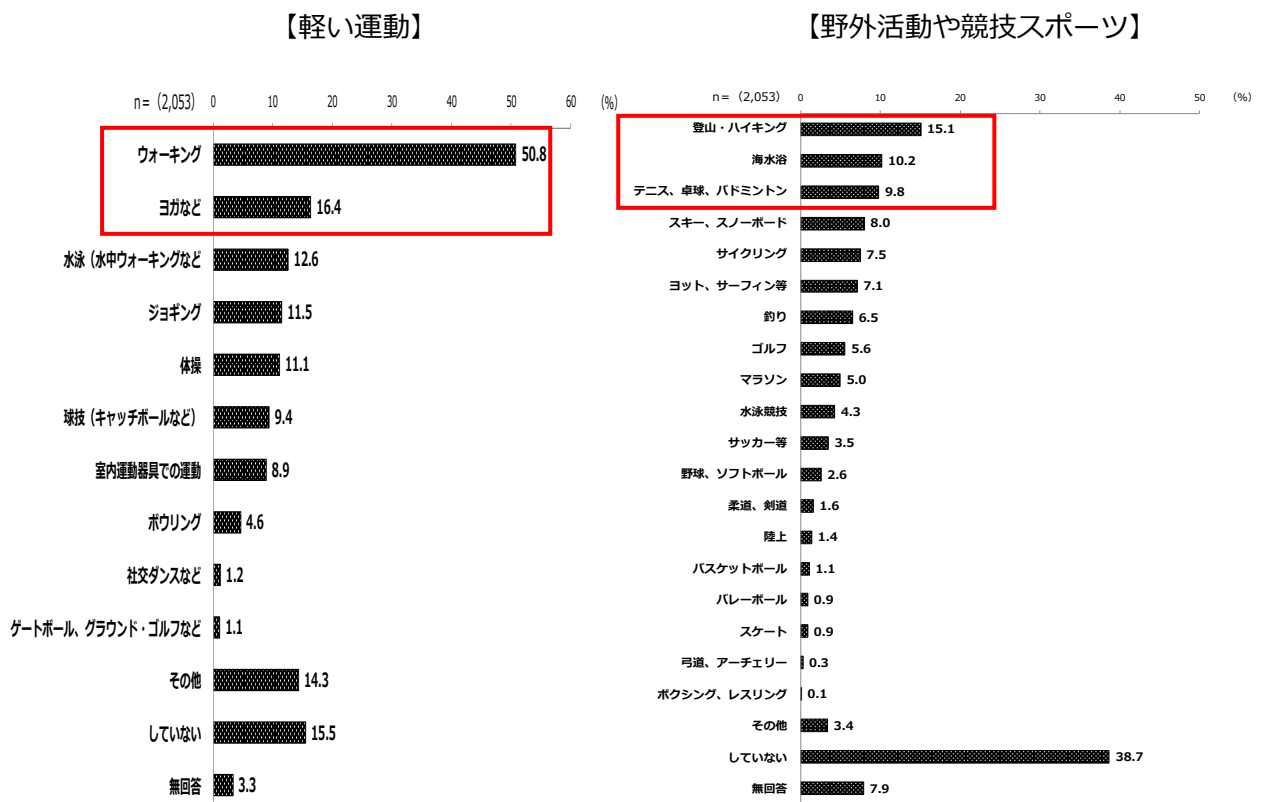
○運動・スポーツ活動の満足度が低い女性の子育て世代へのさらなる運動・スポーツの啓発、きっかけづくりが重要です。

○ 1年間に1日30分以上行った運動・スポーツの種類

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、軽い運動では、「ウォーキング（50.8%）」、「ヨガなど（16.4%）」と回答した割合が高くなっています。

野外活動や競技スポーツでは、「登山・ハイキング（15.1%）」、「海水浴（10.2%）」、「テニス、卓球、バドミントン（9.8%）」と回答した割合が高くなっています。

■ 1年間に1日30分以上行った運動・スポーツの種類（軽い運動／野外活動や競技スポーツ）



※その他の主な回答

（軽い運動）

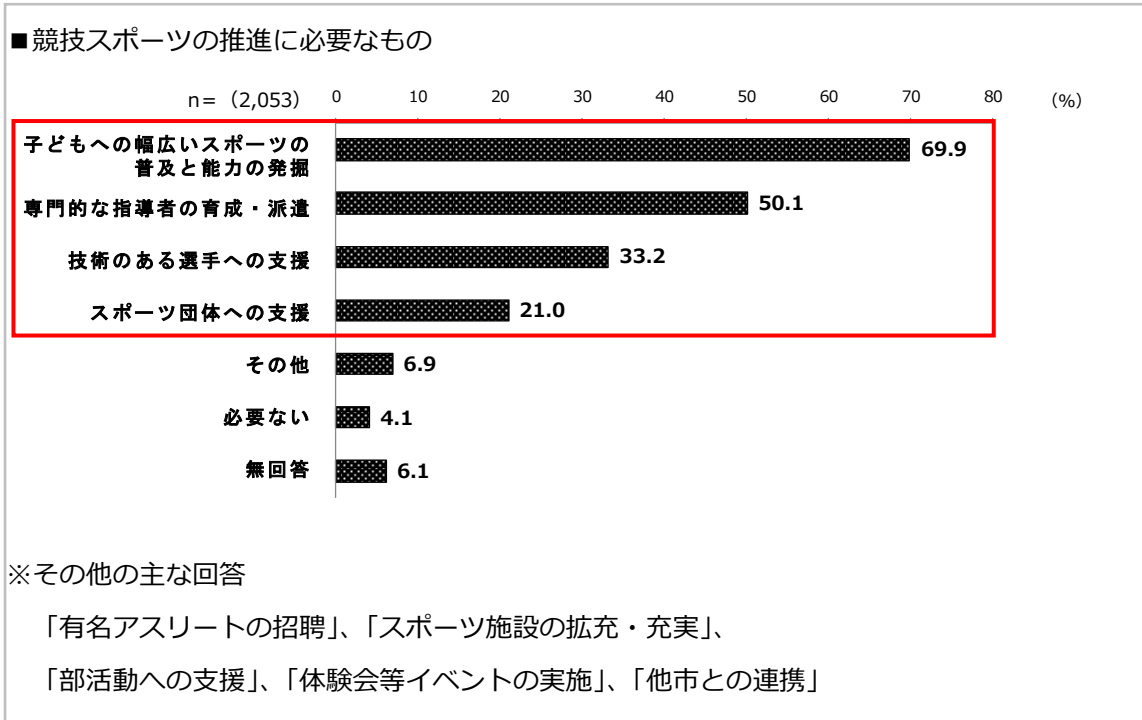
「ラジオ体操」、「ストレッチ」、「犬の散歩」

（野外活動や競技スポーツ）

「ダンス」、「モータースポーツ」、「筋トレ」

○競技スポーツの推進に必要なもの

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「子どもへの幅広いスポーツの普及と能力の発掘（69.9%）」が最も高くなっています。次いで、「専門的な指導者の育成・派遣（50.1%）」、「技術のある選手への支援（33.2%）」、「スポーツ団体への支援（21.0%）」となっています。



【現状】

○子どもに様々なスポーツを体験させることで能力の発掘を期待している回答が高くなっています。

○競技スポーツの推進には、専門的な指導者の育成・派遣と回答した割合が高くなっています。

○技術のある選手への支援やスポーツ団体への支援を求める回答も多くなっています。

【課題】

○特定の種目だけでなく、様々な種目に参加できる総合型地域スポーツクラブのようなクラブを支援していく必要があります。

○スポーツ団体の支援を通じ、専門的な指導者の育成や技術のある選手への支援を行うことを検討していく必要があります。

<公共スポーツ施設>

本町の公共スポーツ施設としては、南郷上ノ山公園内に多目的グラウンドや野球場、テニスコートが整備されています。また、町立小中学校の校庭や体育館等を学校教育の支障のない範囲において開放しており、地域のスポーツ団体等が定期的に利用するなど、町民の身近なスポーツ活動の場として定着しています。

葉山町の公共スポーツ施設（学校体育施設を含む）



【南郷上ノ山公園】

- ◆多目的グラウンド
- ◆野球場
- ◆テニスコート

【学校体育施設】

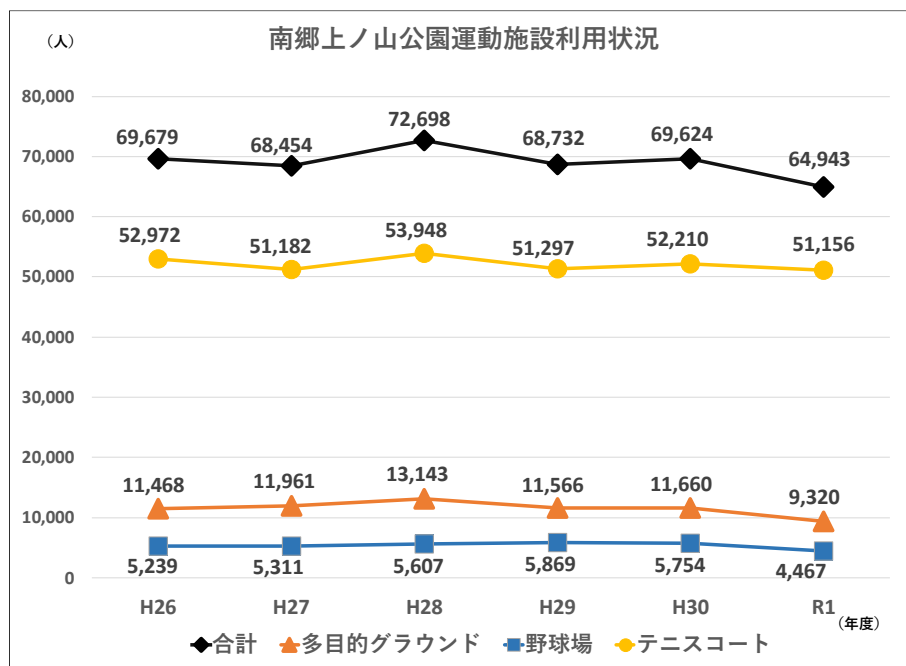
- ◆体育館（中学校は格技室含む）
- ◆校庭

<公共スポーツ施設利用状況>

○南郷上ノ山公園

南郷上ノ山公園運動施設の利用者数は、年間で概ね7万人程度となっています。

施設名	種目等	利用者数（人）					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
多目的グラウンド （1面）	陸上競技 ソフトボール サッカー 等	11,468	11,961	13,143	11,566	11,660	9,320
野球場 （1面）	軟式野球	5,239	5,311	5,607	5,869	5,754	4,467
テニスコート （6面）	テニス	52,972	51,182	53,948	51,297	52,210	51,156
計		69,679	68,454	72,698	68,732	69,624	64,943



野球場



テニスコート



○学校体育施設開放

体育館の利用者数は、年間で概ね4万人程度となっています。

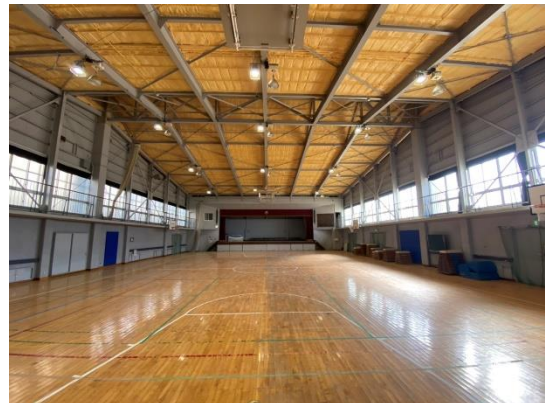
校庭の利用者数は、年間で概ね2～3万人程度となっています。

施設名	学校名	利用者数（人）					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育館 (中学校は格技室含む)	葉山小学校	11,295	14,242	13,411	7,628	10,901	9,633
	上山口小学校	5,218	4,853	6,205	5,981	5,936	4,712
	長柄小学校	5,716	4,933	6,763	5,646	4,898	5,028
	一色小学校	12,255	12,068	10,191	15,170	12,487	10,867
	葉山中学校	8,103	8,088	6,740	7,488	7,088	6,208
	南郷中学校	1,928	1,760	1,666	1,518	1,536	1,739
	計	44,515	45,944	44,976	43,431	42,846	38,187
校庭	葉山小学校	11,695	12,278	11,593	9,954	11,248	9,126
	上山口小学校	1,929	1,656	900	1,307	3,800	2,489
	長柄小学校	2,486	3,758	3,119	3,899	4,599	3,522
	一色小学校	9,390	10,280	8,498	8,199	11,658	7,972
	葉山中学校	240	181	390	235	247	0
	南郷中学校	100	260	190	0	200	28
	計	25,840	28,413	24,690	23,594	31,752	23,137

○学校プール開放

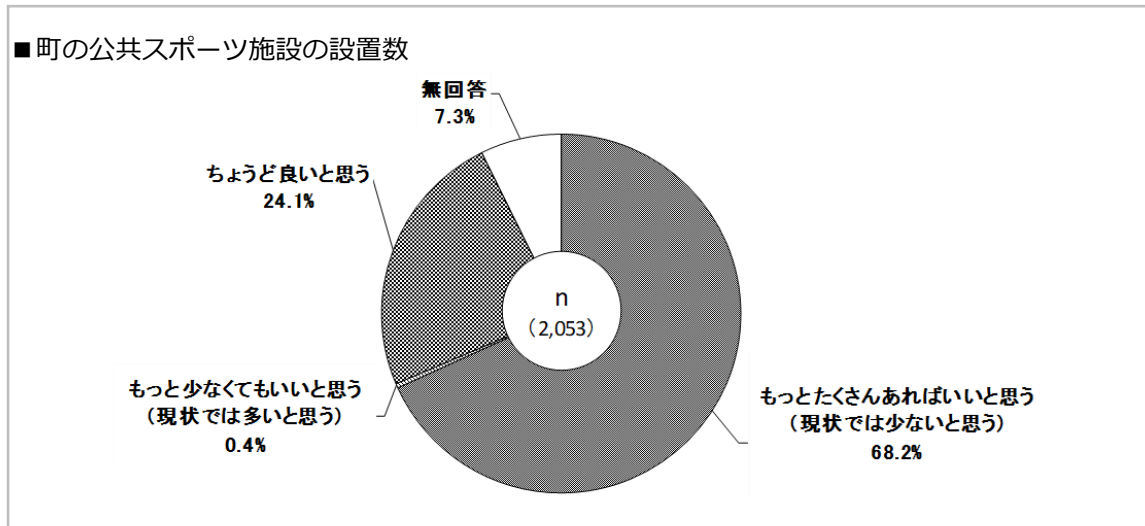
学校プール開放の利用者数は、減少傾向にあります。

施設名	学校名	利用者数（人）					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
プール	葉山小学校	614	579	574	-	中止	527
	上山口小学校	310	277	-	119		344
	長柄小学校	293	183	234	143		-
	一色小学校	-	-	-	412		-
	計	1,217	1,039	808	674		871



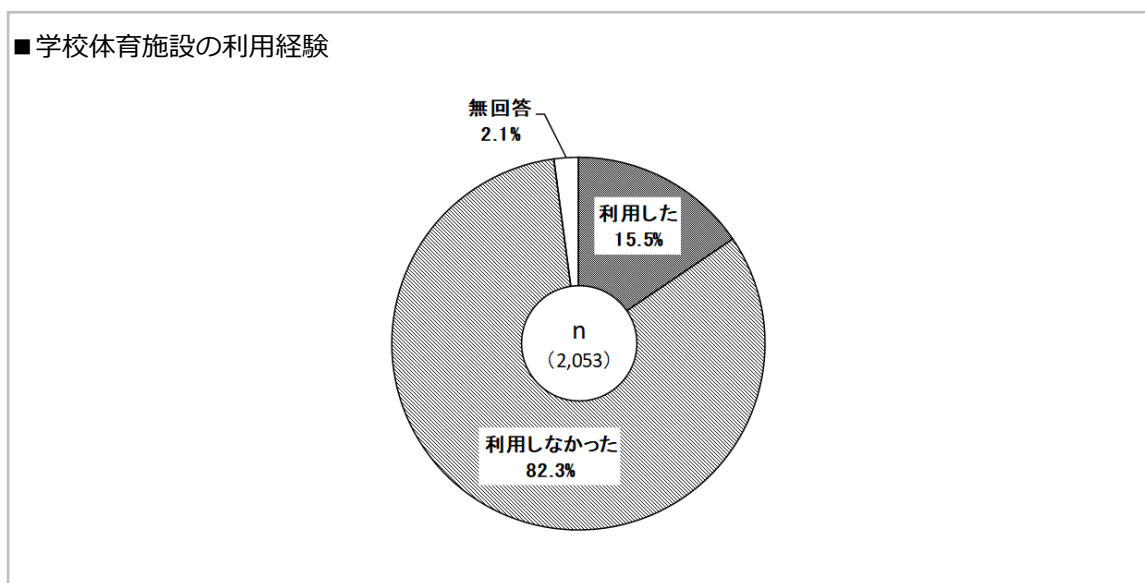
○町の公共スポーツ施設の設置数

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「もっとたくさんあればいいと思う」と回答した割合は、全体の68.2%となっています。



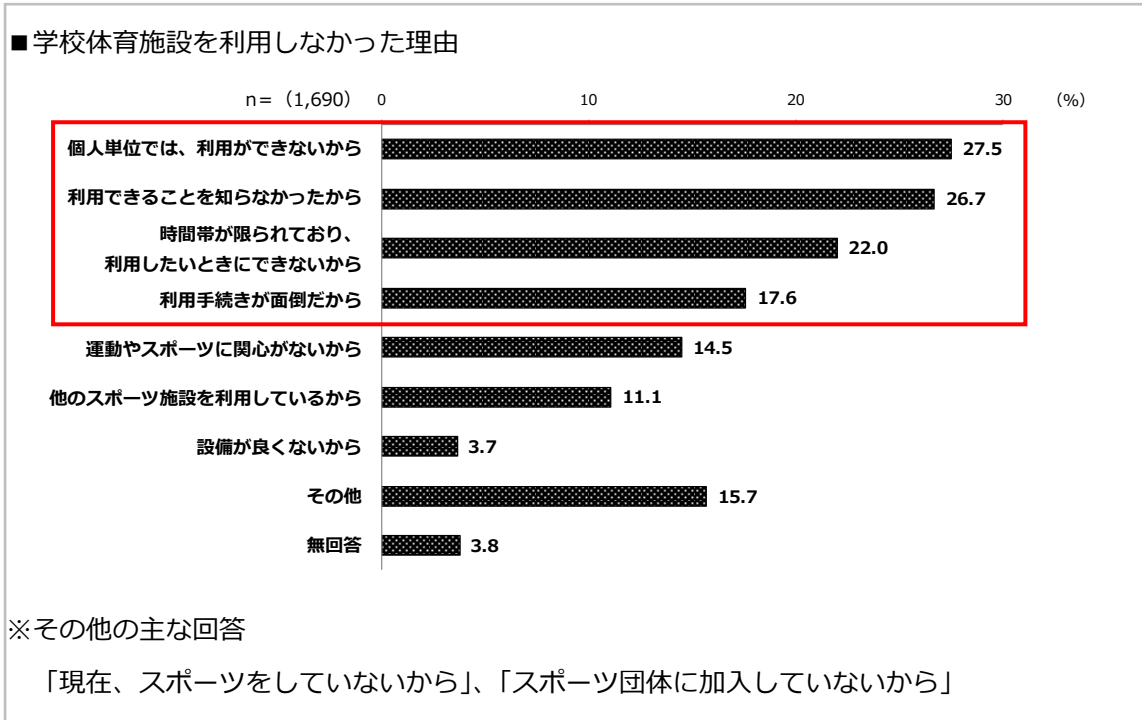
○学校体育施設の利用経験

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、学校体育施設を「利用したことがある」と回答した割合は、全体の15.5%となっています。一方、「利用したことがない」と回答した割合は、全体の82.3%となっています。



○学校体育施設を利用しなかった理由

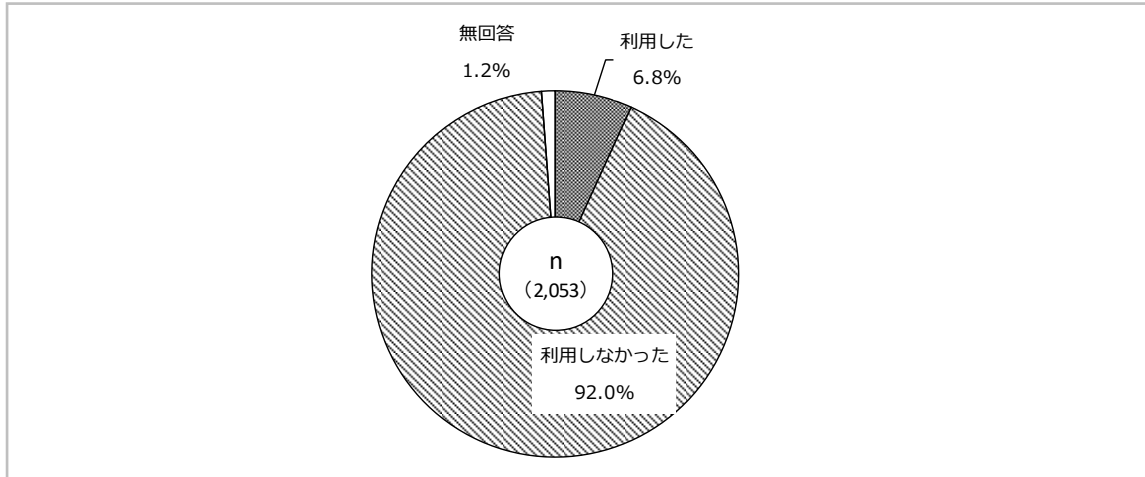
「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「個人単位では、利用できない（27.5%）」、「時間帯が限られている（22.0%）」、「利用手続きが面倒（17.6%）」など利用方法などに関する回答が高いほか、「利用できることを知らなかった」と回答した割合は、全体の26.7%となっています。



○学校プール開放の利用状況

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、学校プール開放を「利用したことがある」人の割合は、全体の6.8%となっています。

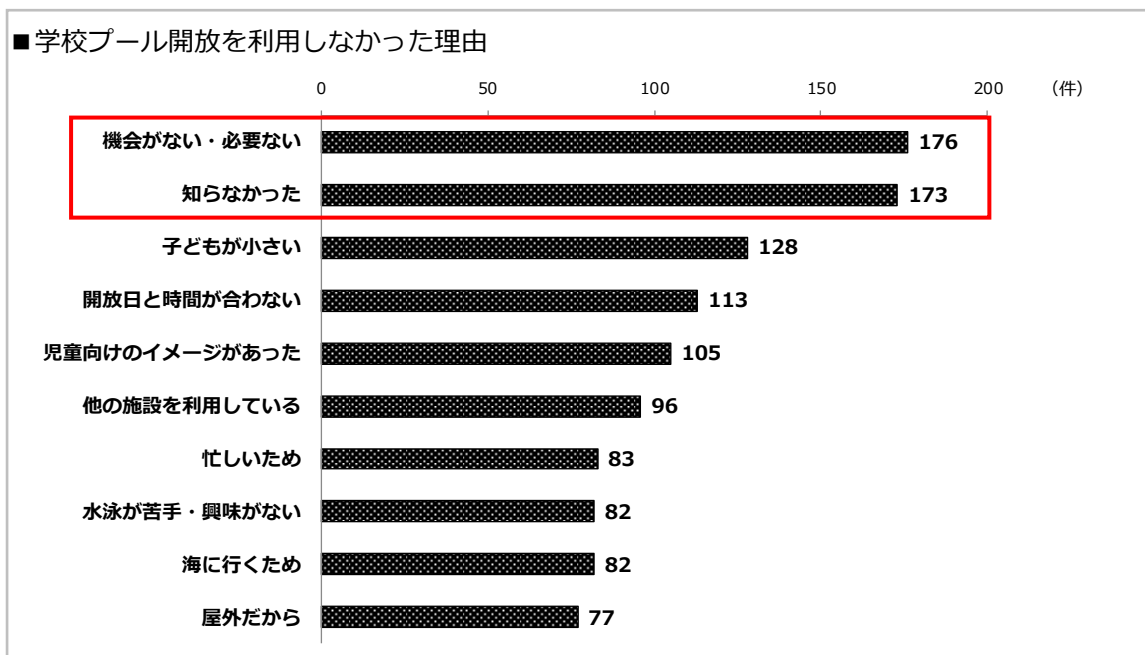
■学校プール開放の利用状況



○学校プール開放を利用しなかった理由

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、学校プール開放を利用しなかった理由では、「機会がない・必要ない」、「知らなかった」と回答した件数が多くなっています。

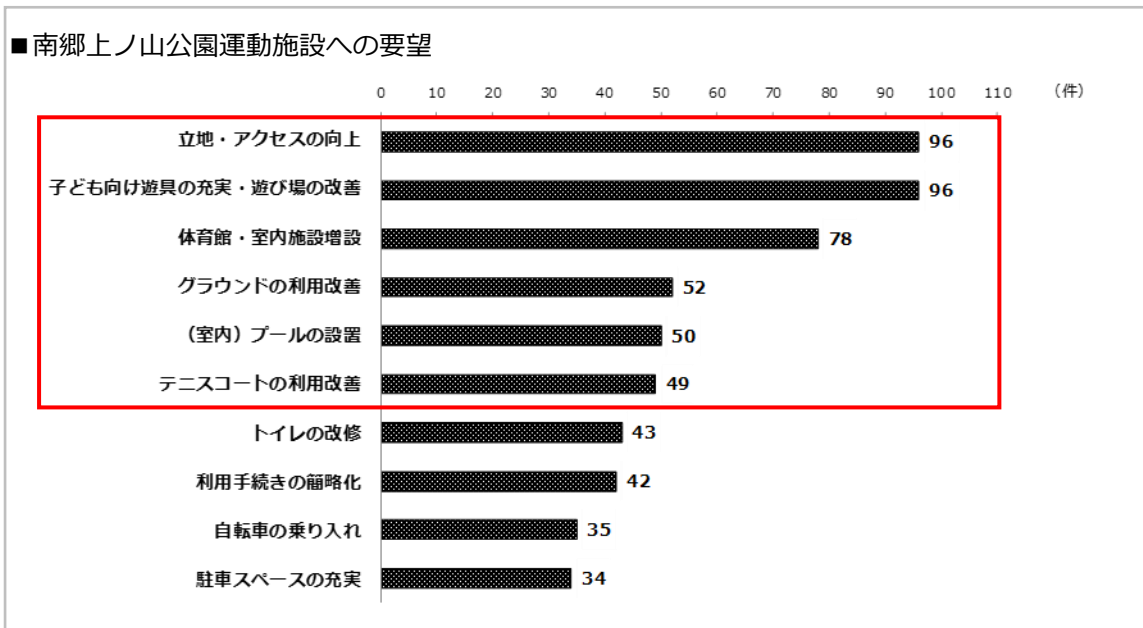
■学校プール開放を利用しなかった理由



○南郷上ノ山公園運動施設への要望

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、場所が遠い、車がないと気軽に行けない、バスを運行してほしいなど、「立地・アクセスの向上」を求める回答が多くなりました。

また、施設面では「子ども向け遊具の充実や遊び場の改善」、「体育館・室内施設の増設」、「グラウンドの利用改善」「（室内）プールの設置」「テニスコートの利用改善」など、設備の充実を求める声が多くなっています。



公共スポーツ施設について

【現状】

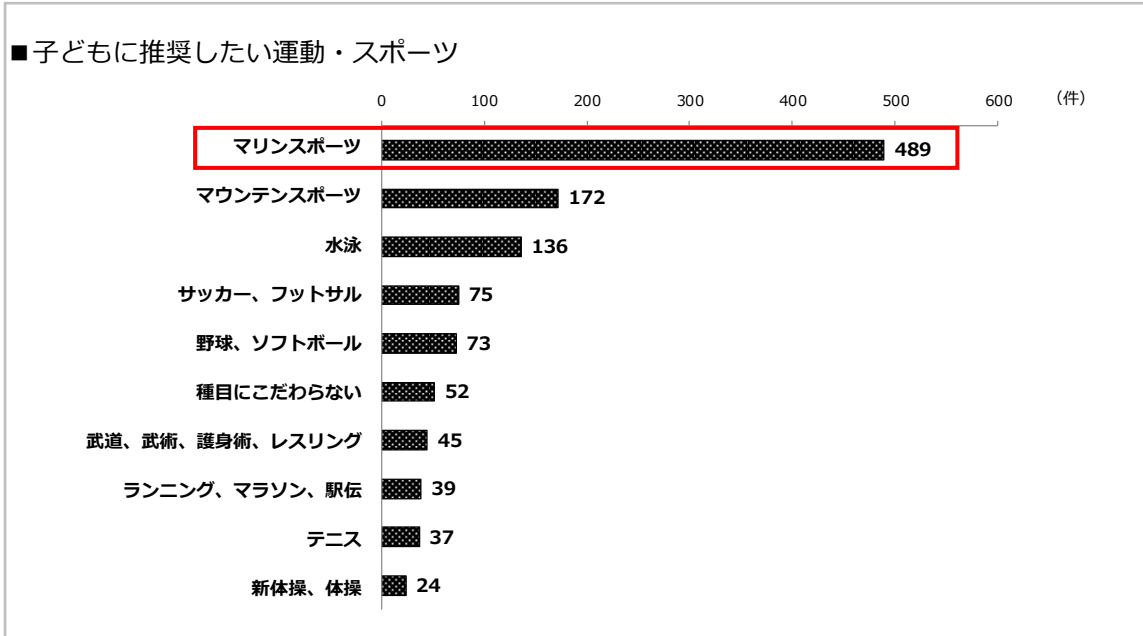
- 公共スポーツ施設の設置数について、「現状では少ないと思う」と回答した割合が高くなっています。
- 学校体育施設について、利用方法の改善を求める回答が高くなっています。
- 南郷上ノ山公園運動施設への要望については、施設設備の充実を求める声が多く挙がっています。

【課題】

- 公共スポーツ施設の数について、全体の約7割が「現状では少ないと思う」と回答しており、町内の公共施設の活用等、新たな活動場所の確保に努め、町民の身近な運動・スポーツ活動の場の拡充に取り組む必要があります。
- 南郷上ノ山公園の園内整備と維持管理に努めるとともに、運動施設の利用方法等の見直しにより、運動・スポーツ活動等に利用できる施設として有効な活用を図る必要があります。
- 学校体育施設について、利用条件の見直しや利用方法の簡略化等、利便性を高めることで、より活動しやすい環境を整える必要があります。

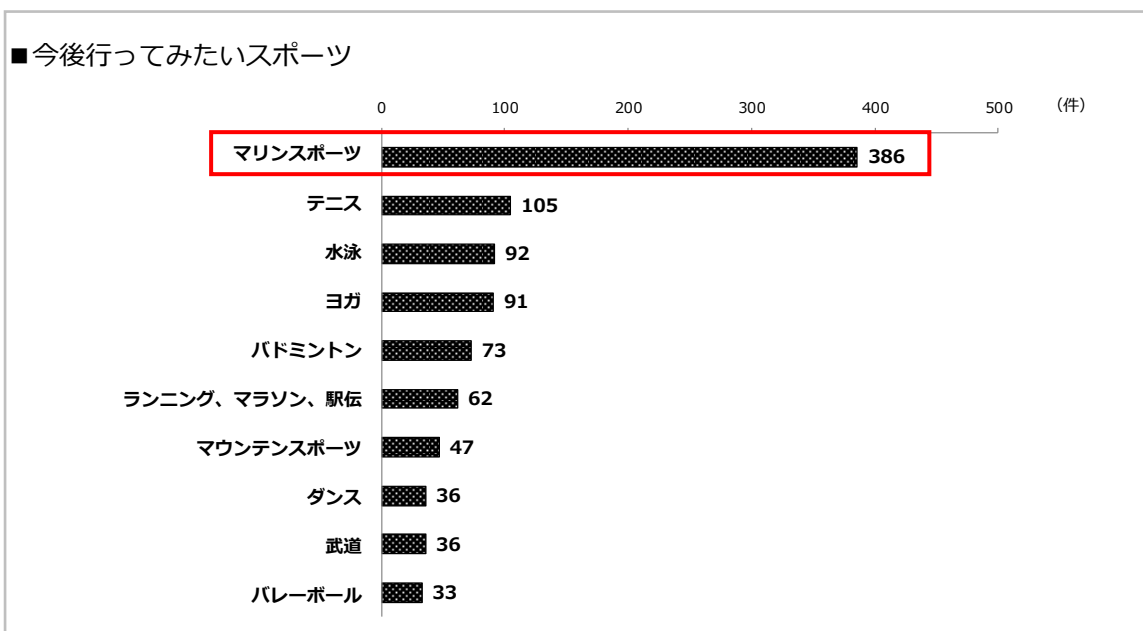
○子どもに推奨したい運動・スポーツ

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「マリンスポーツ」と回答した件数が最も多く、次いで「マウンテンスポーツ」、「水泳」となりました。



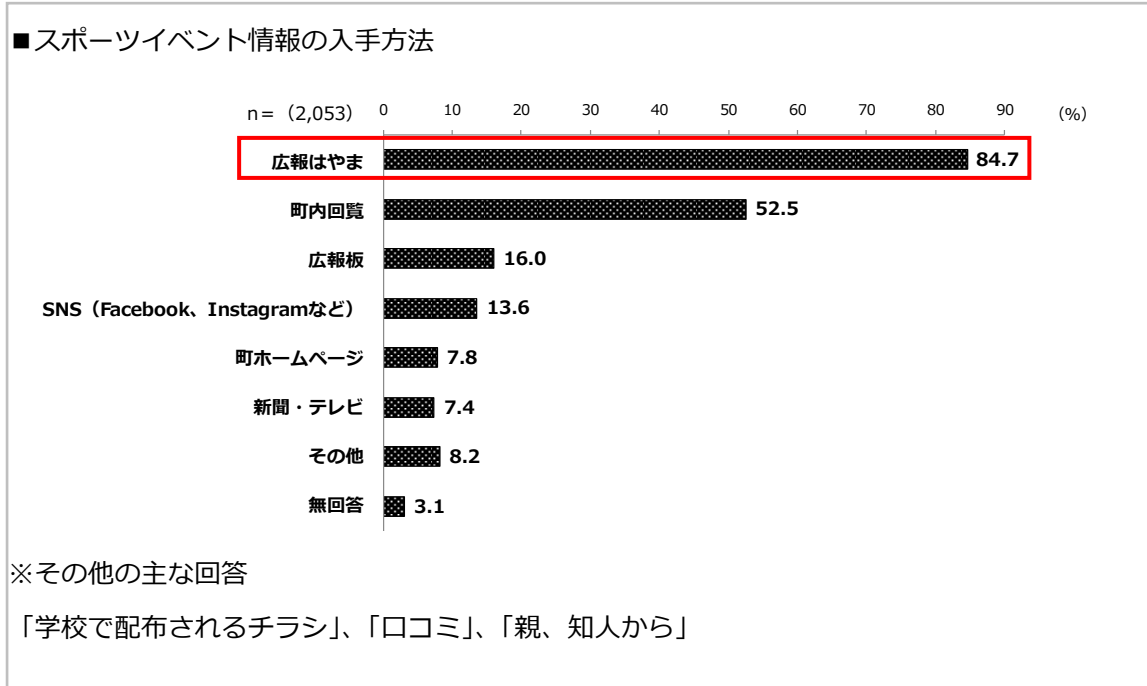
○今後行ってみたいスポーツ

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「マリンスポーツ」と回答した件数が最も多く、次いで「テニス」、「水泳」となりました。



○スポーツイベント情報の入手方法

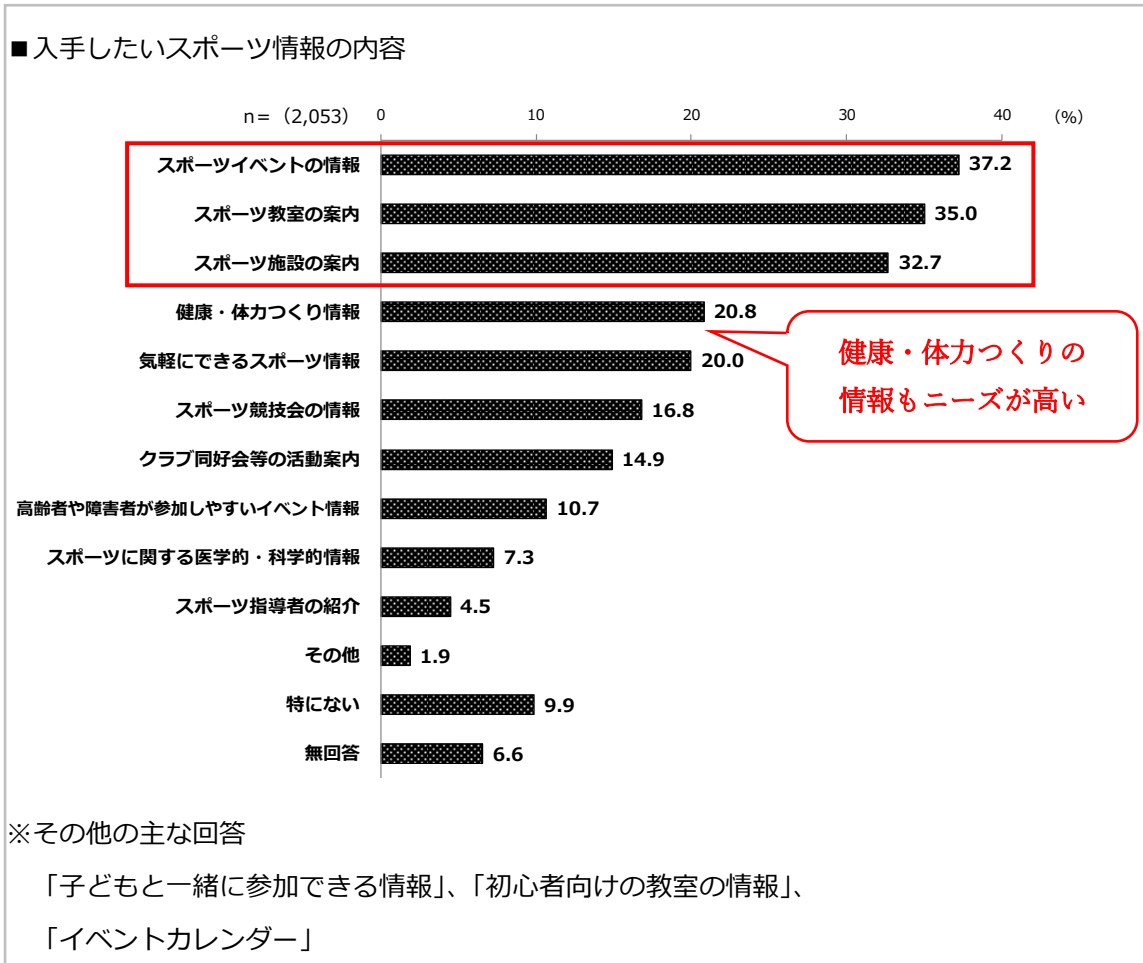
「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「広報はやま」を通してスポーツ情報を入手している人の割合が最も高く、84.7%となっています。



○入手したいスポーツ情報の内容

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「スポーツイベントの情報（37.2%）」、「スポーツ教室の案内（35.0%）」「スポーツ施設の案内（32.7%）」などのスポーツ情報を入手したいと回答した割合が高くなっています。

また、「健康・体力づくり情報（20.8%）」と回答した割合も高くなっています。



【現状】

○「広報はやま」でスポーツ情報を入手している割合が、全体の 84.7%となっており、町民への情報発信方法として有効な情報ツールとなっています。

○スポーツに関する知りたい情報として、イベント、体験教室、施設案内を希望する回答が多くなっています。

○健康や体力づくりに関する情報を求めている声も高くなっています。

【課題】

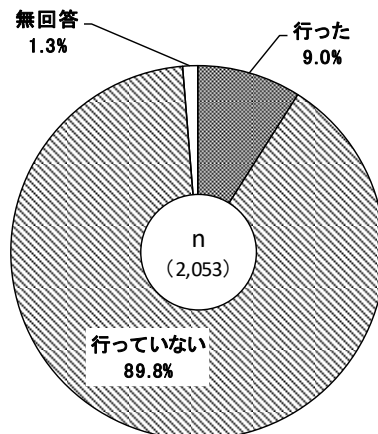
○「広報はやま」に限らず、様々な情報発信方法を活用し、より分かりやすく、より簡単に入手出来るよう提供していく必要があります。

○運動・スポーツだけでなく、健康や体力づくりの観点から身体を動かすきっかけづくりを推進していく必要があります。

○スポーツに関するボランティア活動

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、過去1年間にスポーツの指導やイベントの協力など、スポーツに関するボランティア活動を行った人の割合は、全体の9.0%となっています。

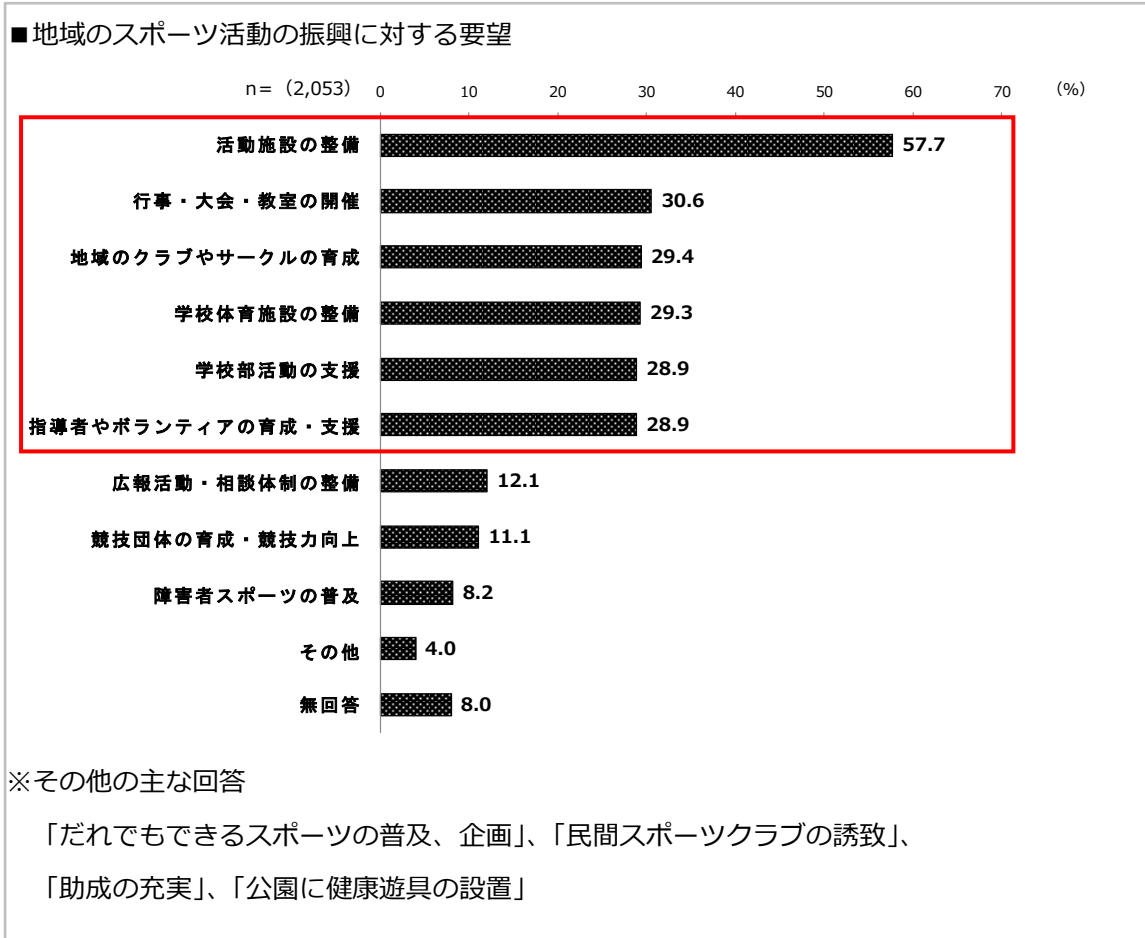
■スポーツに関するボランティア活動



○地域のスポーツ活動の振興に対する要望

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、「活動施設の整備（57.7%）」が最も高くなっています。

「行事・大会・教室の開催（30.6%）」、「地域のクラブやサークルの育成（29.4%）」、「学校体育施設の整備（29.3%）」、「学校部活動の支援（28.9%）」、「指導者やボランティアの育成・支援（28.9%）」となっています。



【現状】

- 地域のスポーツ活動の振興には、「活動施設の整備(57.7%)」、「学校体育施設の整備(29.3%)」と、施設面での改善を求める回答が高くなっています。
- 「地域のスポーツクラブ等の育成(29.4%)」を期待する回答も多くなっています。
- 「学校部活動の支援(28.9%)」や「指導者やボランティアの育成・支援(28.9%)」といった指導者・ボランティアに関する回答も多くなっています。

【課題】

- 町民が運動・スポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の整備を検討していく必要があります。
- 地域のスポーツ活動がより活性化するよう、地域のスポーツクラブ等への支援を行っていく必要があります。
- 学校部活動に関して、地域と学校との連携を検討していく必要があります。
- スポーツ指導者の育成や資質向上、スポーツ活動環境の向上を図るため、スポーツ指導者の資格取得に対する支援について、検討していく必要があります。

○総合型地域スポーツクラブに関連する意見

「町民の運動やスポーツに関するアンケート調査（令和元（2019）年7月～8月）」では、総合型地域スポーツクラブに関連する意見が多く寄せられました。

総合型地域スポーツクラブとは、

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

（スポーツ庁 HP より抜粋）

- ☞ 子どもたちに色々なスポーツを体験する機会を作って欲しい。
- ☞ 様々なスポーツを体験できる機会があれば嬉しい。特に子供は野球やサッカーなどメジャーなものしか知らないため、（ルールなど）色々体験することによって興味を持てたらいいと思う。
- ☞ 子どもたちが、（スポーツについて）知る又は体験することが地域を活発にする第一歩だと思う。子どもの頃は、一つのスポーツだけでなく、色々な競技に触れられる機会が増えることで、好き、嫌い、得意、不得意を経験から学べると思う。
- ☞ 子どもが、自分が夢中になれるスポーツを見つける機会を作ってほしい。なるべく同じ場所で色々なスポーツクラブが集まり体験し、比べて、自分が何をやりたいか見つけられるようなイベントなど、“できないからやりたくない、ヘタだからやりたくない”ではなく“楽しそう！やってみたい！”とスポーツに対して興味をもてる機会があると嬉しい。
- ☞ 子どもがいつでも行って運動できるイベントを月2回程度実施してほしい。
- ☞ 子ども達がスタンドアアップパドルボードやシーカヤックなどを体験できる場があったら良いと思う。
- ☞ 子ども達にはマリンスポーツなどをさせたいが、経続してやらせるには費用がかかりそうでなかなか取りくめない。参加しやすい環境があるといいと思う。
- ☞ 子どものスポーツクラブを選ぶことは一大決心。一つの事をやり遂げるのは大切だが、季節に合わせたスポーツ体験など、子どもにあったスポーツを探したい。
- ☞ 子どもが学校へ行っている間を利用して、仲間と気軽にスポーツがしたい。ヨガやダンスなどはよく目にするが、本格的な競技（水泳、テニス、バドミントン、空手、陸上など）をやってみたい。また、スポーツ用具をレンタル出来ると嬉しい。始めるきっかけがたくさん充実しているとスポーツが出来ると思う。

- ☞ 家族で（金銭面を含めて）気軽に参加出来る機会が欲しい。
- ☞ 近隣市にある総合型地域スポーツクラブ（子ども向けスポーツ教室（体操））に参加している。民間の習い事に比べて月謝がとても安く、気軽に始められて助かっている。同じようなスポーツ教室が充実していると、子育て中の友だち作りのきっかけもできて良いと思う。
- ☞ 出産後から幼稚園入園までの期間、運動やスポーツをしたい女性は沢山いると思う。体力もつけたいし、体型も戻りたいし、時間もいっぱいある。ヨガなど子連れで行けるところ以外に、球技やダンス、団体競技なども託児所があって、子どもを気にせず参加出来るものが沢山あれば良いと思う。
- ☞ 運動をしたいと思いつつ、日々忙しく、なかなか機会のないまま過ごしているため、忙しくても気軽にできるスポーツやその機会があれば嬉しい。
- ☞ 近くで気軽にできるヨガ教室やストレッチ教室があったら良いと思う。予約不要で行くことが出来て、便利だった。
- ☞ 地元のクラブは、週末の親の負担があり、入会を考えてしまう。お任せできるクラブがあると助かる。
- ☞ 年代問わず通えるような所で、もっと気軽にできる、カルチャーセンター教室のようなものを作って欲しい。
- ☞ スポーツを習うと、結構なお金がかかる。もう少し安く、気軽にスポーツを楽しめる機会が欲しい。

【現状】

○単一種目でなく、様々な種目を気軽に楽しめるクラブを望む声があります

○本町は総合型地域スポーツクラブが未設置です。（令和2年 11 月）

【総合型地域スポーツクラブの設置状況】

全 国： 80.5% [設置市区町村(1,401)／全市区町村(1,741)]（令和元年7月）

神奈川県： 81.8% [設置市町村(27)／全市町村(33)]（令和2年 11 月）

【課題】

○身近な場所で様々な運動・スポーツを気軽に楽しめる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの創設を支援していく必要があります。

第3章

－スポーツ推進の施策－

1 計画の基本的な考え方

(1) 基本理念

本町の最上位計画である「第四次葉山町総合計画」では、基本目標に『だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かにくらしているまち』を実現する施策の1つとして「生涯スポーツ活動の推進」を掲げています。

また、「第三次葉山町教育総合プラン」において、「だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らせる環境を整える」ことを基本目標に、スポーツに関する施策の充実を掲げています。

本計画では、これらの上位計画に基づき、自然豊かな環境の下、町民・団体が自主的、積極的に活動し、交流を深め、運動・スポーツに関して様々なかたちで参加できるまちを目指して、「**町民のだれも^{*}が、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現**」を基本理念として掲げます。

基本理念

町民のだれもが、いつでも楽しく、
どこでも気軽に、いつまでも親しめる
生涯スポーツ社会の実現

※「**だれも**」とは…幼児，児童，青少年，働き世代の大人，高齢者，障害者，運動している人，運動していない人など全ての町民のことを指しています。

(2) 本計画が目指す将来像

基本理念に基づき、本計画が目指す将来の姿は、以下のとおりとします。

将来の姿

町民・団体等の自主的、積極的な活動を支援することで、
町民のだれもが、運動・スポーツに親しめる環境が整っている

(3) 数値目標

本計画では、本町が定めるスポーツ推進の基本理念に基づき、計画期間における数値目標として「成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率」を目標に掲げます。この数値目標の達成に向け、より一層施策の強化を図っていきます。

令和6（2024）年度に向けた、スポーツ推進の数値目標を設定します。

「数値目標」

成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率 **65%以上**
(現状値 51.7%)

週3回以上の運動・スポーツ実施率 **30%以上**
(現状値 21.4%)

参考：国の政策目標（令和3年度）

週1回以上 65%程度

週3回以上 30%程度

県の数値目標（令和2年度）

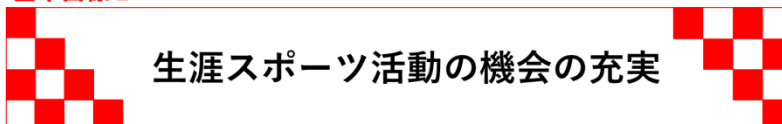
週1回以上 65%

週3回以上 30%

(4) 基本目標

第2章で整理したスポーツ推進の課題を基に、将来の姿の実現に向けて3つの基本目標を掲げます。

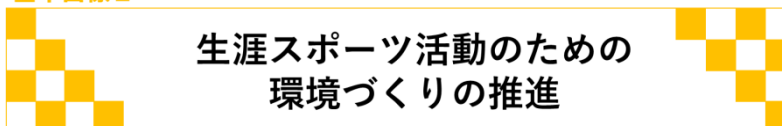
基本目標1



町民だれもが、生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を送れるために、町民一人ひとりの興味や目的、ライフステージに応じて、運動・スポーツに親しめるよう、多様なスポーツ活動の機会を充実させます。

また、総合型地域スポーツクラブの創設支援をおこない、町民が地域で仲間たちと気軽に運動・スポーツを楽しみ、地域のコミュニケーションの場が図れる環境を整えます。

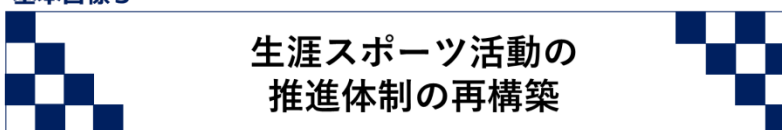
基本目標2



スポーツ施設の充実や適切な維持管理により、町民の運動・スポーツ活動の環境を整えます。さらに、庁内の関係部署等が所管する施設との連携を図り、運動・スポーツ活動の場を充実します。

また、マリンスポーツなど地域の特性を活かしたスポーツの普及や、「する」「みる」「ささえる」スポーツのきっかけとなる「知る」観点から、スポーツ情報の積極的な発信を行います。

基本目標3



町民が生涯にわたり健康的に運動・スポーツに親しむ環境を整備するため、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等の連携強化や、大学・企業との連携・協働を進め様々な人材を活かした推進体制を構築します。

また、町内のスポーツ振興をより推進するため、スポーツ関係団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援します。

(5) 計画の体系

3つの基本目標を達成するため、それぞれの基本施策を次のとおり掲げます。

基本目標1 生涯スポーツ活動の機会の充実

基本施策（1）運動・スポーツを始める機会提供

基本施策（2）日常的に運動・スポーツをする機会提供

基本施策（3）競技スポーツへの参加機会提供

基本目標2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

基本施策（1）スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備

基本施策（2）地域の特性を活かした運動・スポーツの普及

基本施策（3）的確な運動・スポーツ情報の提供

基本目標3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

基本施策（1）連携・協働によるスポーツ活動の推進

基本施策（2）運動・スポーツに関わる人材育成と団体への支援

基本施策1 運動・スポーツを始める機会提供

だれもが気軽に運動・スポーツに親しむことができるよう、家庭や地域、学校等と連携・協働し、スポーツ教室やイベント等を開催します。

また、生活習慣病予防や健康増進、仲間との交流等、多角的な視点で運動・スポーツと関連付けた取組みを推進していきます。

現状と課題

生涯にわたって運動・スポーツに親しむためには、子どもの頃から家庭、学校、地域、競技団体等との連携により、日常的にスポーツ活動に取り組める環境づくりが必要です。

一方、ICT（情報通信技術）の発展や社会環境の変化等により、生活の利便性の向上や子どもたちを取り巻くスポーツ環境も変化し、運動をする子どもとまったくしない子どもの二極化が見られるようになりました。

町民を対象としたアンケート調査でも、成人の2人に1人が運動・スポーツを行う習慣がないと回答しており、子育て世代や働き盛り世代など、仕事や家庭、育児による時間の制約でスポーツ活動を楽しむゆとりがないことが課題となっています。

本町では、運動・スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ関係団体等との連携により、様々なスポーツ体験講座を実施してきましたが、各年代のライフスタイルに応じた取組みをさらに推進していく必要があります。

また、運動・スポーツを始めるきっかけづくりとして、気軽に運動・スポーツに親しめる環境を整えていくほか、健康づくりや体力向上、仲間との交流など関連付けた取組みも推進していくことが求められています。

施策の方向性

身体を動かすきっかけづくりの推進

健康増進や仲間との交流などを目的とした運動・スポーツ活動の推進

主な取組み

健診時における運動啓発

子どもの健診時に、日常生活の中で行える子どもの運動について情報提供します。

スポーツ体験講座の実施

スポーツへの興味・関心・参加を促進するため、スポーツ関係団体等と協力してスポーツへのきっかけづくりを推進します。

町民体力測定の実施

自らの体力・健康状態を把握し、健康づくりや運動・スポーツを始めるためのきっかけづくりを推進します。

スポーツ出前講座

町内会・自治会や地域団体等の会合等に伺い、スポーツに関わってこなかった人にも、ポッチャなどの気軽にできるスポーツを普及することで、身体を動かすことの楽しさを伝えます。

スポーツ用具の貸出し

より多くの町民に気軽に運動・スポーツを行う機会を提供するため、マリンスポーツを始めとしたスポーツ用具の貸出しについて検討します。



(少年少女スポーツ体験講座「陸上競技」)



(町民体力測定)

基本施策2 日常的に運動・スポーツをする機会提供

町民だれもが、身近な場所で気軽に運動・スポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの創設を支援すると共に、インターネットの積極的な活用など新たな視点や手法を取り入れ、より日常的に運動・スポーツに取り組める機会を提供します。

現状と課題

運動・スポーツには、体力の向上、ストレス発散、生活習慣病予防など心身の健康保持・増進のほか、青少年の健全育成、コミュニティの形成など様々な効果が期待されており、町民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整備することが重要となっています。

町民アンケートにおいては、「子どもに色々なスポーツを体験させたい」、「身近な場所で気軽に参加できるヨガ教室やストレッチ教室を実施してほしい」、「親子で参加できるクラブがあると参加しやすい」などの声があり、特定種目に限らず、様々な運動・スポーツを身近な場所で気軽に楽しみたいというニーズが高まっています。

また、国や県では、地域住民が自主的、主体的に運動・スポーツの機会を提供する総合型地域スポーツクラブの創設を推奨していますが、本町においては、定期的な活動場所の確保や指導者育成など様々な課題により、創設に至っておりません。（令和2年10月現在）

今後は、総合型地域スポーツクラブの創設に向けた支援を積極的に進めるほか、感染症等の新しい生活様式の下であっても、インターネットの積極的な活用や新たな視点での情報発信の手法を検討するなど、日常的に運動・スポーツに親しむ機会を提供していく必要があります。

施策の方向性

総合型地域スポーツクラブの創設支援
日常的に身体を動かす環境づくりの推進

主な取組み

総合型地域スポーツクラブ
創設支援

だれもが身近な地域で多種多様なスポーツに親しめるように、葉山町体育協会が中心となって進めている総合型地域スポーツクラブの創設支援を行います。

日常的に取り組める運動の普及啓発

日常的に運動・スポーツを行うきっかけづくりとして、ウォーキングや自宅で行える体操等の動画をインターネット配信し、普及啓発に努めます。

スポーツにおける安全確保の情報発信

安心・安全に運動・スポーツを行うために、自己の健康管理や感染症・熱中症などの注意喚起を、様々なツールで情報発信します。



野筋運動・堀内たすけ愛媛版@旗立山 (立位のみ、テロップ付)

(貯筋運動の動画配信)



Let'sウォーキング！葉山健康の散歩道～準備編～

(ウォーキングの動画配信)



(葉山健康の散歩道)

基本施策3 競技スポーツへの参加機会提供

競技スポーツの発展や競技力向上を図るとともに、「みる」観点から競技スポーツへの関心を高め、競技スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、葉山町体育協会の競技団体が主催する町民大会等の開催を支援します。

また、全国大会等に出場する選手や団体の活躍を広く町民にPRすることで選手の意欲の向上を図るとともに、トップアスリート等による技術指導等を開催し、町民に対して競技スポーツへの理解を深めます。

現状と課題

本町出身の選手が国際大会や全国大会で活躍することは、子どもたちの憧れや目標となるとともに、町民に勇気や感動を与えてくれます。本町の競技スポーツ団体である葉山町体育協会では、19の競技団体が定期的な練習のほか、強化練習や合宿、指導者を対象とした講習会などを実施し、競技力向上に努めています。

一方、近年では、競技スポーツ人口が減少し、各競技団体の活動が縮小される傾向が懸念されます。

町民アンケートでは、競技スポーツの推進に必要なものについて、「子どもに様々なスポーツを体験させることで能力の発掘を期待する」「競技スポーツの推進には、専門的な指導者の育成や派遣が必要」との声が多くなっています。

今後は、町民が競技スポーツに対して、更に興味や関心が持てるよう、トップアスリートによる技術指導や交流会などの開催を検討していく必要があります。

また、スポーツを「する」ことに苦手意識を持つ人でも、「みる」ことは気軽に行えます。「みる」ことから競技スポーツに関心を持ち、新たに競技スポーツを始めるきっかけとなるよう、「する」観点だけでなく、「みる」観点からの取組みも推進する必要があります。

施策の方向性

競技スポーツに関心を持つきっかけづくりの推進
競技団体が主催する大会等の支援

主な取組み

トップアスリート等の活用

町民が競技スポーツに興味や関心が持てるよう、トップアスリート等による技術指導や交流・講演会を開催します。

各種スポーツ大会の会場の確保や周知等の支援

大会の会場確保や周知等を支援し、町民が競技スポーツに関わる機会を創出します。

HP 等による優秀選手・団体のPR

表敬訪問に訪れた選手や団体を HP 等で広く PR し競技者の意欲を向上させ、町民の競技スポーツへの理解を深めます。

国際大会等の情報提供

「みる」スポーツの観点から、県内で開催される国際大会等の情報を発信します。



(「葉山町空手道協会」町長へ表敬訪問)



(少年少女スポーツ体験講座「ソフトボール」)

基本施策 1 スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境整備

町民が身近な場所で運動・スポーツに親しむことができるよう、南郷上ノ山公園の利用条件等を見直し、学校体育施設を含めた運動施設の有効な活用を図ることで、地域の運動・スポーツ環境を充実させます。

現状と課題

本町のスポーツ施設は、南郷上ノ山公園内に「多目的グラウンド」や「テニスコート」、「野球場」が整備され、屋外スポーツ施設の拠点として、広く町民に利用されています。

また、学校体育施設も町民の身近な運動・スポーツ活動の場として定着しており、屋内競技種目の重要な拠点ともなっています。

一方、町民アンケートでは、南郷上ノ山公園は「個人利用が出来ない」、「場所が遠い」、学校体育施設は「個人利用が出来ない」、「利用時間が限られている」、「利用手続きが面倒」など利用条件の改善を求める声があります。今後は、施設の利用条件の見直しや適切な維持管理、整備を図ることで、より気軽に施設利用が出来るよう、効果的・効率的な活用を図っていくとともに、庁内関係部署や地域との連携を図り、町民が身近な場所で運動・スポーツに親しめるよう、活動場所の拡充についても検討していく必要があります。

また、日中に活動できる体育館などの屋内施設の新設を求める声もあります。スポーツ施設を取り巻く現状を踏まえ、「みんなの公共施設みらいプロジェクト」と連動しながら、本町が目指すべきスポーツ施設の整備及び運営に関する方向性を示していく必要があります。

施策の方向性

町民の身近な運動・スポーツをする場の充実

主な取組み

町内スポーツ施設の効果的・効率的活用

南郷上ノ山公園運動施設や学校体育施設の利用条件等を見直し、スポーツ施設の利用促進を図ります。

スポーツ施設の整備検討

みんなの公共施設未来プロジェクトと連動しながら、町民体育館をはじめとした将来的なスポーツ施設のあり方を検討します。

公共施設の活用

関係部署等が所管する施設との連携を図り、町民の運動・スポーツの場の拡充を検討します。



(「南郷上ノ山公園テニスコート」)



(学校体育施設)

基本施策2 地域の特性を活かした運動・スポーツの普及

自然豊かな環境を活かし、海や山で気軽に運動・スポーツに親しめる取組みを推進します。

また、姉妹都市関係を結ぶ群馬県草津町とのスポーツ交流を継続し、スポーツを通じた町民同士の交流を深めます。

現状と課題

本町では、小学生を対象に夏休みの期間を利用してウィンドサーフィンやヨット乗船、サーフィンなどのマリンスポーツ体験を行っています。

町民アンケートでも、「子どもに推奨したい運動・スポーツ」、「自身が今後やってみたいスポーツ」でマリンスポーツが高い人気を得るなど、地域の特性を活かしたスポーツ振興に取り組んでいくことが求められています。

一方、年間を通して気軽に体験できる機会が少ないため、町内の民間事業者、スポーツ関係団体等と連携を図り、マリンスポーツが気軽に楽しめる環境を整備していく必要があります。

また、町内には町が推奨する散歩コース「健康の散歩道」のほか、「仙元山ハイキングコース」、「三ヶ岡山ハイキングコース」、南郷上ノ山公園内に「果実と野鳥の森」と呼ばれる遊歩道も整備されており、だれもが気軽に散歩やハイキングに親しむ環境が整っています。

これら自然豊かな環境を活かした運動・スポーツの取組みを推進していく必要があります。

姉妹都市交流については、昭和44（1969）年3月に群馬県草津町と姉妹都市関係を結び、これまでスポーツを通じた交流として、夏は草津町民が海水浴を、冬は葉山町民がスキーを楽しむなど、両町の特色を活かした交流を続けてきました。また、両町の競技スポーツ団体による相互交流も行われているなど、スポーツを通じた交流は、地域活性化にもつながることが期待されるため、引き続き、取組みを進めていく必要があります。

施策の方向性

町の特性を活かした運動・スポーツの普及
スポーツを通じた姉妹都市交流の推進

主な取組み

年間を通したマリンスポーツ
の普及

地域の特性を活かし、年間を通して町民の
だれもが気軽にマリンスポーツに触れ合う
機会を提供します。

「ウォーキング」の普及啓発

「葉山健康の散歩道」等を活用し、町の魅力
である海や山を活かした砂浜歩きや山歩き
などの運動を推進します。

姉妹都市である群馬県草津町
とのスポーツ交流

地域の特性を活かしたスポーツを通じて、
両町町民の交流を深めます。



(森戸海岸 ウォーキング)



(ウィンドサーフィン体験講座)



(町民スキー学校)

基本施策3 的確な運動・スポーツ情報の提供

運動・スポーツに親しむ機会となる情報について、町民のライフステージに応じて、適切な方法で提供していきます。

また、庁内関係部局や地域等と連携し、スポーツに関わってこなかった人に対しても、運動・スポーツの魅力を伝えていきます。

現状と課題

本町では、スポーツイベントや施設の情報を「ホームページ」や「広報はやま」など、様々な情報ツールを活用し、提供しています。

町民アンケートでは、町内のスポーツイベント情報の入手方法について、全体の84.7%が「広報はやま」から入手しており、「広報はやま」が広く町民に親しまれた情報ツールとなっています。

さらに町民の運動・スポーツ活動を推進していくため、新たな発信方法を検討していく必要があります。

現在のホームページでは、広く町民に必要な情報が行き届いていないことも考えられます。町民に必要な情報が的確に届くよう、「する」「みる」「ささえる」の観点で、ホームページをより分かりやすく充実させていく必要があります。

また、今まで運動・スポーツに関わってこなかった町民に対しては、既存の情報ツールでは、効果が小さいことも考えられます。興味・関心が持てる情報を検討するとともに、地域と連携した情報ツールを検討することで、情報のさらなる充実に取り組んでいく必要があります。

施策の方向性

町民のニーズを踏まえた効果的な情報発信
運動・スポーツに関わってこなかった町民に対する情報発信

主な取組み

情報発信方法の充実

地域のスポーツ情報が町民に分かりやすく簡単に入手できるよう、既存の情報ツールを見直し、広報はやまスポーツ版など新たな情報ツールを検討します。

HP 等による優秀選手・団体のPR
(再掲)

表敬訪問に訪れた選手や団体を HP 等で広く PR し競技者の意欲を向上させ、町民の競技スポーツへの理解を深めます。

スポーツにおける安全確保の情報発信
(再掲)

安心・安全に運動・スポーツを行うために、自己の健康管理や感染症・熱中症などの注意喚起を、様々な情報ツールで発信します。



スポーツ・講座など
第5回 市民大会開催
第1回 市民大会開催
第2回 市民大会開催
第3回 市民大会開催
第4回 市民大会開催
第5回 市民大会開催
第6回 市民大会開催
第7回 市民大会開催
第8回 市民大会開催
第9回 市民大会開催
第10回 市民大会開催
第11回 市民大会開催
第12回 市民大会開催
第13回 市民大会開催
第14回 市民大会開催
第15回 市民大会開催
第16回 市民大会開催
第17回 市民大会開催
第18回 市民大会開催
第19回 市民大会開催
第20回 市民大会開催
第21回 市民大会開催
第22回 市民大会開催
第23回 市民大会開催
第24回 市民大会開催
第25回 市民大会開催
第26回 市民大会開催
第27回 市民大会開催
第28回 市民大会開催
第29回 市民大会開催
第30回 市民大会開催
第31回 市民大会開催
第32回 市民大会開催
第33回 市民大会開催
第34回 市民大会開催
第35回 市民大会開催
第36回 市民大会開催
第37回 市民大会開催
第38回 市民大会開催
第39回 市民大会開催
第40回 市民大会開催
第41回 市民大会開催
第42回 市民大会開催
第43回 市民大会開催
第44回 市民大会開催
第45回 市民大会開催
第46回 市民大会開催
第47回 市民大会開催
第48回 市民大会開催
第49回 市民大会開催
第50回 市民大会開催
第51回 市民大会開催
第52回 市民大会開催
第53回 市民大会開催
第54回 市民大会開催
第55回 市民大会開催
第56回 市民大会開催
第57回 市民大会開催
第58回 市民大会開催
第59回 市民大会開催
第60回 市民大会開催
第61回 市民大会開催
第62回 市民大会開催
第63回 市民大会開催
第64回 市民大会開催
第65回 市民大会開催
第66回 市民大会開催
第67回 市民大会開催
第68回 市民大会開催
第69回 市民大会開催
第70回 市民大会開催
第71回 市民大会開催
第72回 市民大会開催
第73回 市民大会開催
第74回 市民大会開催
第75回 市民大会開催
第76回 市民大会開催
第77回 市民大会開催
第78回 市民大会開催
第79回 市民大会開催
第80回 市民大会開催
第81回 市民大会開催
第82回 市民大会開催
第83回 市民大会開催
第84回 市民大会開催
第85回 市民大会開催
第86回 市民大会開催
第87回 市民大会開催
第88回 市民大会開催
第89回 市民大会開催
第90回 市民大会開催
第91回 市民大会開催
第92回 市民大会開催
第93回 市民大会開催
第94回 市民大会開催
第95回 市民大会開催
第96回 市民大会開催
第97回 市民大会開催
第98回 市民大会開催
第99回 市民大会開催
第100回 市民大会開催

教育委員会だより「いそぎく」

(広報はやま)

基本施策 1 連携・協働によるスポーツ活動の推進

町民のライフステージに応じた生涯スポーツ活動の推進のため、町民、スポーツ関係団体、スポーツ推進委員、学校、民間事業者、学識経験者との連携を強化し、横断的な推進体制の構築を目指します。

また、スポーツ推進計画を着実に推進するため、スポーツ推進審議会において、計画に対する評価を適切に行います。

現状と課題

本町のスポーツ行政は、スポーツ推進委員、スポーツ関係団体、民間事業者などとの連携で実施してきましたが、そのほとんどがスポーツに関係する団体等との連携によるものでした。

町民のライフステージに応じた運動・スポーツ活動を生涯にわたって計画的に推進していくためには、スポーツ団体等との連携に加え、保健・福祉、学校、町内会（自治会）、地域で活躍する団体・企業（民間事業者）や大学（学識経験者）等と連携・協働が重要です。

また、中学校の部活動において、国が働き方の観点で様々な施策を導入する新たな動きが見られます。本町もこの流れを真摯に受け止め、部活動指導の地域委託等の検討が課題となります。

今後は、町民のだれもが生涯にわたって、それぞれの体力、技術、興味、目的に応じて、健康的に運動・スポーツに親しむことの出来る環境を計画的に推進する体制を整備していく必要があります。

施策の方向性

横断的な生涯スポーツ推進体制の構築

主な取組み

保健・福祉部署等との連携強化

保健・福祉部署等との連携・協働により、町民それぞれのライフステージや健康状態に応じた運動・スポーツの習慣化を図ります。

学校との連携強化

学校と地域、関係団体との連携により、児童・生徒の体づくりや体力向上のほか、部活動の支援を図ります。

団体間の連携強化

運動・スポーツに関して様々な形で参加できるまちを目指して、スポーツ関係団体をはじめ文化団体や町内会等との情報共有、連携・協働の強化を図ります。

大学や企業との連携強化

人材育成やスポーツを取り巻く様々なニーズに対応するため、大学や企業等との連携強化を図ります。



(PTA ドッジボール大会)



(バリアフリーヨット大会)

基本施策 2 運動・スポーツに関わる人材育成と団体等への支援

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」ことにより、すべての人が参画することができ、スポーツの楽しさや喜びを共有することができます。

町内の運動・スポーツを支える人材として、様々なニーズに応じた適切な指導を行う人材を育成するとともに、スポーツ関係団体等が地域に根差したスポーツ活動を継続して実施できるよう支援をします。

現状と課題

本町では、地域におけるスポーツの推進者として、17名（令和2（2020）年10月）のスポーツ推進委員が活動しています。スポーツ推進委員は、スポーツの実技指導やスポーツイベントの協力、また、スポーツコーディネーターとしても期待されています。

しかしながら、近年はスポーツ推進委員が不足しており、活動に支障を来すことが懸念されます。

本町の競技スポーツ団体としては、葉山町体育協会があり、現在、19の競技団体（令和2（2020）年4月）が定期的に活動していますが、近年では、競技スポーツ人口が減少し、各競技団体の活動が縮小される傾向が懸念されます。

今後、運動・スポーツを推進していくためには、指導者の数を増やすとともに、一人ひとりの資質を向上させる取り組みが必要となっています。

また、葉山町体育協会や各競技団体などとも連携し、各競技の指導者の育成に取り組むほか、レクリエーションスポーツや障害者スポーツなど、だれもが楽しめるスポーツを普及させるための指導者を育成していくことも求められます。

これら団体が自主的かつ継続的に活動し、専門的な指導者の育成が図られることで、より活性化した活動につながるよう支援していく必要があります。

施策の方向性

スポーツ推進委員の育成
地域スポーツ関係団体への支援

主な取組み

スポーツ推進委員の人材確保
と研修会等の充実

町のスポーツ活動を促進するため、スポーツ指導者やコーディネーターとして活躍できる人材を確保するとともに、研修会等の充実を図り、スポーツ推進委員の育成を行います。

葉山町体育協会等への支援

本町のスポーツ振興を支える葉山町体育協会等を支援することで、スポーツ事業の充実のほか、競技力向上や指導者の育成を図ります。

総合型地域スポーツクラブ
創設支援（再掲）

だれもが身近な地域で多種多様なスポーツに親しめるように、葉山町体育協会が中心となって進めている総合型地域スポーツクラブの創設支援を行います。

スポーツ指導者等の
育成とキャリアアップ

町民のスポーツに関する要望の多様化に対応できるような知識や技能を有する人材を育成するため、各種研修会や講習会などの充実を図ります。



（葉山町体育協会）



（スポーツオープンデー（スポーツ推進委員））

第4章

－計画の推進にあたって－

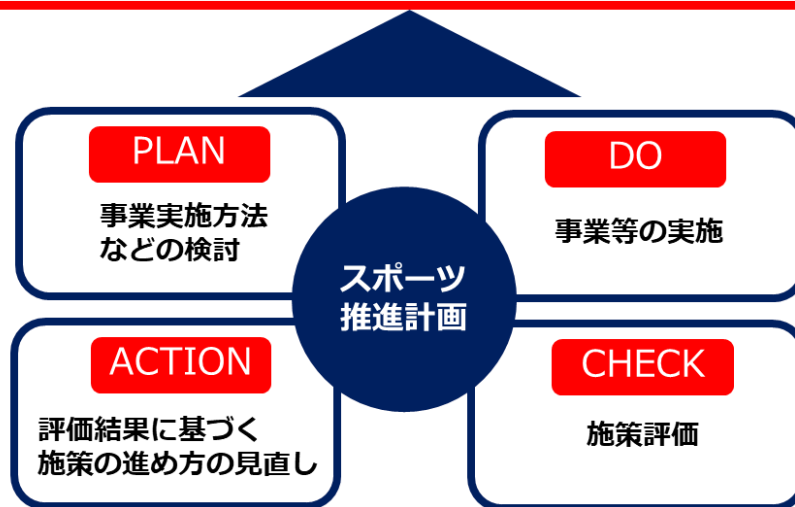
1 計画の推進と進行管理

(1) 計画の推進と進行管理

計画の推進にあたっては、PDCA サイクルにより適切に行っていきます。また、庁内関係部局やスポーツ関係団体等との連携・協働のもと、スポーツ推進計画を着実に推進するため、「葉山町スポーツ推進審議会」において、計画に対する評価を適切に行います。

基本理念

町民のだれもが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、
いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現



2 各主体の役割

効果的な計画の推進に向けて、各主体がそれぞれの役割を果たしていくことが求められています。

❖ 町民

生涯にわたり、一人ひとりが気軽に運動・スポーツに親しみ、明るく豊かなスポーツライフを構築していくことが求められます。

❖ 町（葉山町）

計画の推進主体の中核として、本計画の目指すべき将来像の実現に向け、町民の運動・スポーツ活動の支援やスポーツ環境の整備を行っていきます。

また、庁内関係部局とも運動・スポーツを視点とした連携を強化し、スポーツ事業の推進を図ります。

❖ スポーツ推進委員

町のスポーツ振興の推進者として、町や学校、地域団体等が実施する事業への協力や、地域住民のニーズに合わせたスポーツの普及、実技指導、また、町民・スポーツ団体のニーズの把握など、調整役・コーディネーターとしての役割が求められています。

❖ 葉山町体育協会

町のスポーツ推進のビジョンを共有し、町のスポーツ事業の担い手として、町民のさらなる運動・スポーツの推進を図る必要があります。

また、スポーツに関する情報提供や自主事業・イベントの実施など、町民のニーズに合ったスポーツ事業を展開していくことが求められています。

❖ 総合型地域スポーツクラブ

多世代で多様な種目のスポーツを楽しめる活動機会の提供、スポーツ体験会やイベントの開催を通して、町民のスポーツ活動の拡充が求められています。また、学校や地域との連携において中心的な役割になることが期待されます。

❖ 学校・幼稚園・保育園

就学前の子どもの外遊びや児童・生徒の日常的な運動・スポーツの機会を提供し、子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむきっかけを作り出す役割が求められています。

❖ 町内会・自治会

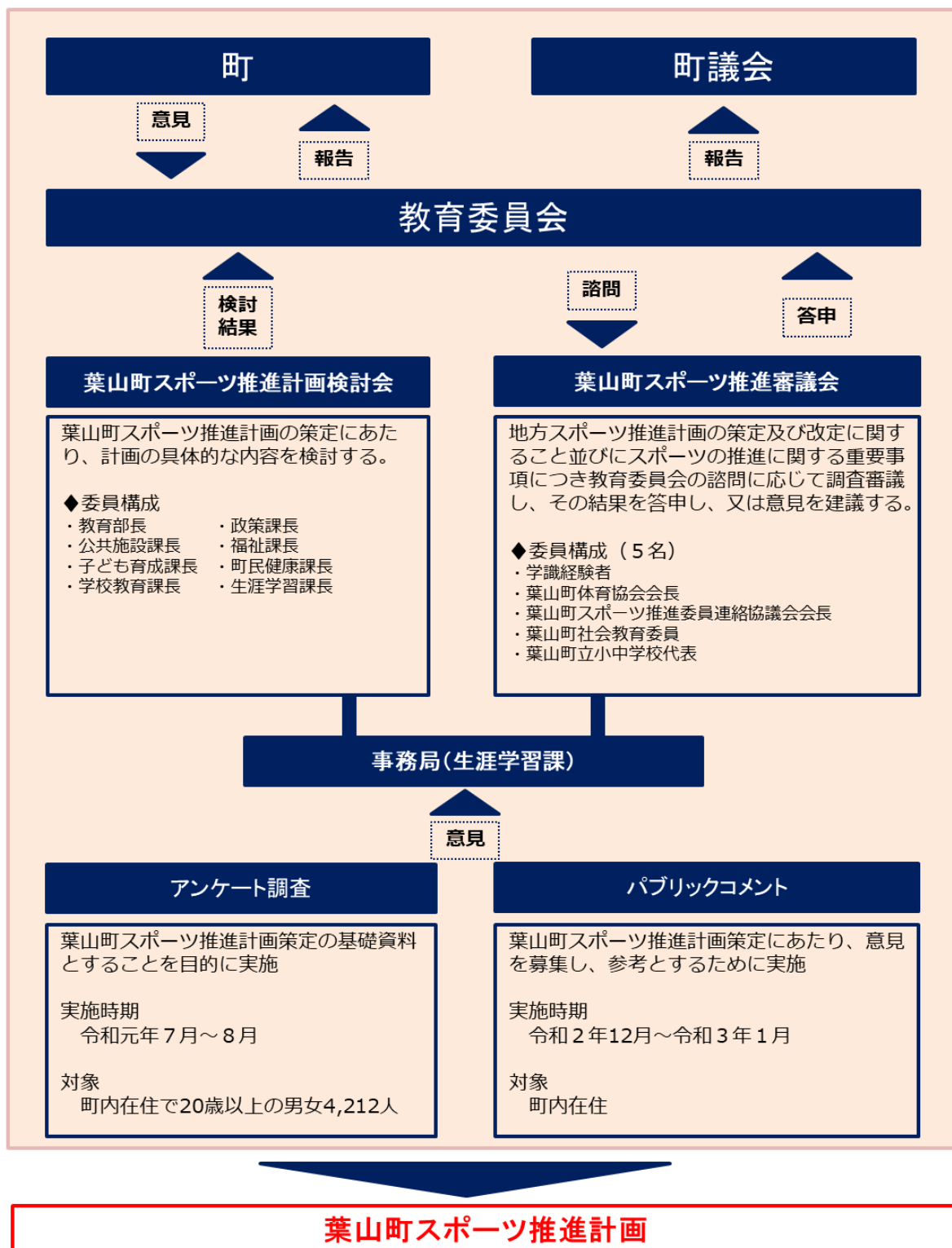
町内各地の特徴を踏まえ、地域の住民が気軽に参加できるイベント等の開催が求められます。また、運動・スポーツを通じた地域のコミュニケーションが図られることで、地域の活性化につながることも期待されます。

❖ 民間事業者

町民の多様なニーズを捉え、日常的に運動・スポーツに親しむことのできる場や機会を提供することが期待されます。また、専門的なノウハウを活かし、行政との連携で事業の担い手としての役割も求められています。

資料編

1 葉山町スポーツ推進計画の策定体制



2 葉山町スポーツ推進審議会委員名簿

	区分	氏名	所属
1	学識経験者	鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学教授
2	スポーツ団体	歌代 光雄	葉山町体育協会会長
3		田中 晋	葉山町スポーツ推進委員連絡協議会会長
4	関係行政機関	矢嶋 道文	葉山町社会教育委員
5		益田 孝彦	葉山町立小中学校代表 (葉山町立南郷中学校校長)

3 葉山町スポーツ推進計画検討会委員名簿

	区分	氏名	職名
1	座長	沼田 茂昭	教育部長
2	副座長	井上 尚美	生涯学習課長
3	委員	町田 伸	政策課長
4		高橋 雅宏	公共施設課長
5		鹿島 正	福祉課長
6		中川 禎久	子ども育成課長
7		新倉 利勝	町民健康課長
8		濱名 恵美子	学校教育課長

4 葉山町スポーツ推進計画策定経過

時期	内容
平成30年 7月11日（水）	第1回葉山町スポーツ推進計画検討会 【議事】 （1）葉山町スポーツ推進計画の策定方針について （2）葉山町スポーツ推進計画の構成の検討に向けた意見交換
平成30年 12月19日（水）	第2回葉山町スポーツ推進計画検討会 【議事】 （1）葉山町スポーツ推進計画素案（案）における関係各課等の意見結果について （2）葉山町スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査項目の内容について
平成31年 3月18日（月）	第3回葉山町スポーツ推進計画検討会 【議事】 （1）葉山町スポーツ推進計画素案（案）について （2）葉山町スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査項目の内容について
平成31年 3月20日（水）	葉山町教育委員会3月定例会 ・葉山町スポーツ推進審議会委員の委嘱について ・葉山町スポーツ推進計画（素案）について
平成31年 4月26日（金）	第1回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 （1）葉山町スポーツ推進計画（案）の策定について（諮問） （2）アンケート調査について
令和元年 6月19日（水）	葉山町教育委員会6月定例会 ・葉山町スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査の実施について
令和元年 7月1日（月）	町民の運動やスポーツに関するアンケート調査 実施 令和元年7月1日（月）～8月14日（水）
令和元年 10月29日（火）	第2回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 （1）アンケート調査結果（速報）について （2）基本目標、基本施策について
令和元年 12月26日（木）	第3回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 （1）生涯スポーツ活動の推進について （2）生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進について （3）生涯スポーツ活動推進体制の再構築について
令和2年 1月15日（水）	葉山町教育委員会1月定例会 ・アンケート調査結果について（報告）

時期	内容
令和2年 7月1日(水)	第1回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 葉山町スポーツ推進計画(案)の検討について
令和2年 9月2日(水)	第2回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 葉山町スポーツ推進計画(案)の検討について
令和2年 11月18日(水)	葉山町教育委員会11月定例会 ・葉山町スポーツ推進計画(案)に対するパブリックコメント(意見募集)の実施について
令和2年12月～ 令和3年1月	パブリックコメント 実施 12月3日(木)～1月4日(月)
令和3年 1月22日(金)	第3回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) パブリックコメントの実施報告について (2) 葉山町スポーツ推進計画(案)について(答申案審議)
令和3年 2月4日(木)	答申
令和3年 3月	葉山町スポーツ推進計画 策定

葉山町スポーツ推進計画

令和3年3月

発行	葉山町教育委員会生涯学習課 スポーツ係 〒240-1112 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050-9 電話 046-876-1111 (内線 7231)
----	--
